

高等学校中途退学追跡調査報告書

平成23年3月

埼玉県教育委員会

はじめに

平成 21 年度の埼玉県公立高等学校における中途退学者の状況は、全日制で 1,963 人、退学率 1.7%、定時制で 688 人、退学率 12.6%、全・定合計で 2,651 人、退学率 2.2%となっております。

本県における中途退学の特徴としては、もともと高校生活に熱意がない、授業に興味がないなどの「学校生活・学業不適応」を理由とする中途退学が多い（埼玉公立 52.7%、全国公立 41.3%）こと、1 年生での退学者の割合が高い（埼玉公立 56.9%、全国公立 44.8%）ことなどがあげられます。

これまでも各高等学校においては、校長のリーダーシップのもと、中学生の体験入学や学校説明会の実施、授業方法の工夫・改善、目的意識を養うための就労体験の実施など、中途退学の防止に向けた様々な取組が行われております。

その結果、中途退学率は平成 18 年度以降 4 年連続で減少しておりますが、全国公立高等学校の中途退学率と比べ、未だ高い状況にあります。

こうした現状を踏まえて、中途退学者の実態を把握するため、平成 17 年度以来 5 年ぶりに中途退学者への追跡調査を実施いたしました。

この報告書は、その調査結果をまとめたものです。今後の各高等学校における生徒指導や学習指導、あるいは中学校と高等学校の連携等に役立ててもらうとともに、中途退学の防止に関する基礎資料として活用していきたいと考えております。

終わりに、この調査に御協力いただいた方々をはじめ、関係各位に感謝申し上げます。

平成 23 年 3 月

埼玉県教育委員会教育長 前 島 富 雄

目次

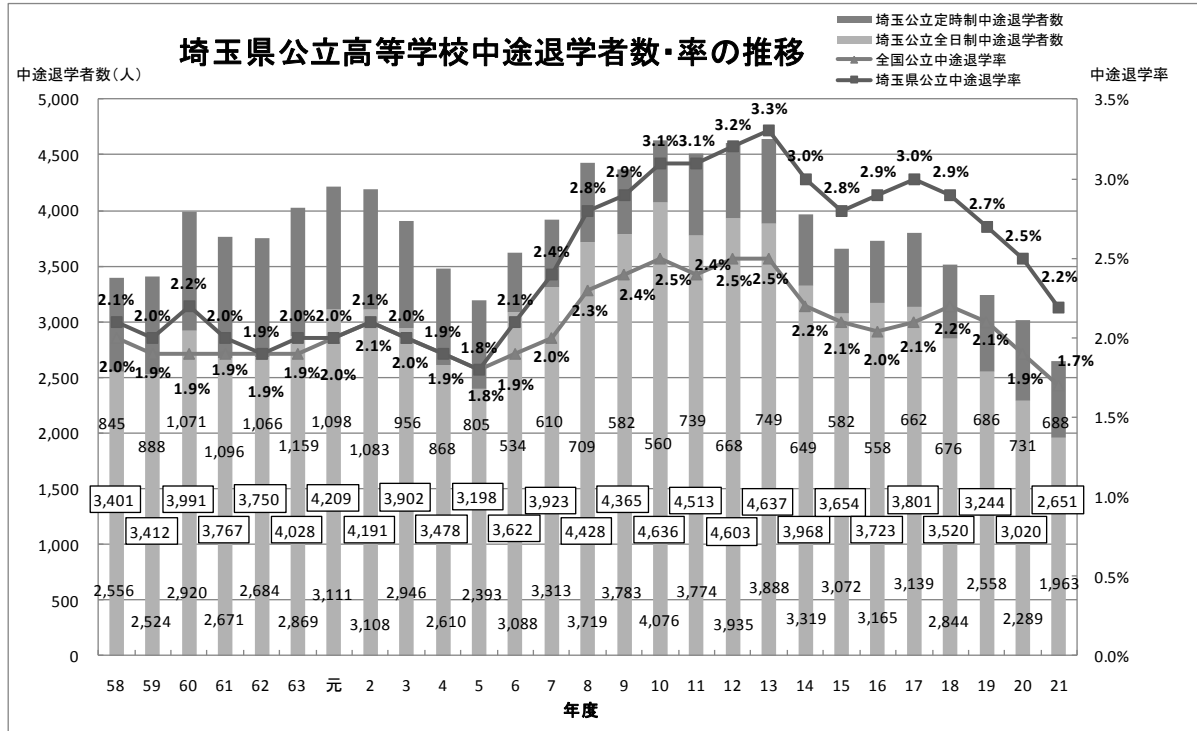
第1章 中途退学の現状	1
1 本県および全国の中途退学の状況	1
2 本県公立高等学校における中途退学者の学年別構成比	5
3 本県公立高等学校における中途退学者の理由別割合	8
第2章 高等学校中途退学追跡調査について	11
第3章 調査結果	13
1 概要	13
2 調査結果	17
■ 基本データ	17
(1) 性別を教えてください。	17
(2) 高校をやめたときの学年を教えてください。	18
(3) 高校をやめた月を教えてください。	19
(4) 中途退学した高校の課程を教えてください。	21
(5) 中途退学した高校の学科を教えてください。	22
■ 現在の状況	23
(6) 現在の状況について教えてください。	23
(7) 現在の状況は、高校をやめたときの希望どおりの状況ですか。	25
(8) 高校をやめたことについて現在どのように考えていますか。	26
(9) 現在学校に所属していない人に伺います。将来学校で学びたいと思いますか。	27
■ 高校入学前	29
(10) 中学時代、中学卒業後の進路をどのように考えていましたか。	29
(11) 中学校の進路指導に、どのようなことを望みますか。【複数回答可】	31
(12) 高校に進学した理由はどのようなものでしたか。【複数回答可】	33
(13) 入学する高校を決めるときに役立ったことは何ですか。【複数回答可】	35
■ 高校入学後	37
(14) 入学した高校は、志望した高校でしたか。	37
(15) 高校に入学してみて、どう思いましたか。【複数回答可】	38
(16) 高校生活の中で楽しかったことは何ですか。【複数回答可】	40
(17) 高校の授業の内容についてどう思いましたか。	41

(18)	在学していた高校には、心を打ち明けて話せる友人が何人ぐらいいましたか。.....	43
(19)	高校には、気軽に相談できる先生がいましたか。.....	45
(20)	高校の校則やきまりはどうでしたか。.....	46
■	高校をやめるにあたって.....	47
(21)	高校をやめた理由に一番近いものを、次の中から一つだけあげてください。.....	47
(22)	高校をやめることについて誰かに相談しましたか。.....	50
(23)	前の質問で「した」と回答した人に伺います。誰と相談しましたか。 【複数回答可】.....	51
(24)	高校をやめた時点では、その後のことについてどのように考えていましたか。.....	53
(25)	高校をやめる前は、高校卒業の資格は必要だと考えましたか。.....	55
■	高校をやめてから.....	56
(26)	高校をやめた後は、高校卒業の資格は必要だと考えましたか。.....	56
(27)	高校での生活を振り返って、高校にどのようなことを望みますか。 【複数回答可】.....	57
(28)	高校をやめたあと、自分の進路について、誰かに相談しましたか。.....	59
(29)	前の質問で「した」と回答した人に伺います。誰と相談しましたか。 【複数回答可】.....	60
(30)	(28)の質問で、「しなかった」と答えた方のみお答えください。 なぜ相談しなかったのですか。.....	61
(31)	次のことは、あなたにとって必要ですか。【複数回答可】.....	62
第4章 調査結果から.....		63

第1章 中途退学の現状

1 本県および全国の中途退学の状況

埼玉県公立高等学校における中途退学率は、平成5年度までは全国平均とほぼ同水準であったが、平成6年度以降、全国平均を上回って推移している。平成18年度以降は連続して減少しており、平成21年度は中途退学率2.2%、中途退学者数2,651人となっている。



※棒グラフ中央枠内の数字は中途退学者数の計、下の数字が全日制、上の数字が定時制である。

		昭和 58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	
全国公立	計	中途退学者数	67,932	67,009	72,086	73,176	73,127	75,791	81,332	82,846	76,684
		中途退学率	2.0	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	2.0	2.1	2.0
	全	中途退学者数	46,580	45,906	49,170	50,011	50,676	53,031	58,028	60,403	57,456
		中途退学率	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	1.6	1.5
	定	中途退学者数	21,352	21,103	22,916	23,165	22,451	22,760	23,304	22,443	19,228
		中途退学率	16.4	16.2	17.3	16.5	15.9	15.7	16.1	16.0	14.8
埼玉県立	計	中途退学者数	3,401	3,412	3,991	3,767	3,750	4,028	4,209	4,191	3,902
		中途退学率	2.1	2.0	2.2	2.0	1.9	2.0	2.0	2.1	2.0
	全	中途退学者数	2,556	2,524	2,920	2,671	2,684	2,869	3,111	3,108	2,946
		中途退学率	1.7	1.6	1.7	1.5	1.4	1.5	1.6	1.6	1.6
	定	中途退学者数	845	888	1,071	1,096	1,066	1,159	1,098	1,083	956
		中途退学率	17.9	17.6	19.5	18.0	16.4	17.0	16.2	16.3	15.3

			4	5	6	7	8	9	10	11	12
全国公立	計	中途退学者数	68,822	63,428	64,229	64,431	73,736	73,654	73,474	70,554	73,253
		中途退学率	1.9	1.8	1.9	2.0	2.3	2.4	2.5	2.4	2.5
	全	中途退学者数	52,084	48,018	49,346	50,174	58,332	59,276	59,158	55,625	56,578
		中途退学率	1.5	1.4	1.5	1.6	1.9	2.0	2.1	2.0	2.0
	定	中途退学者数	16,738	15,410	14,883	14,257	15,404	14,378	14,316	14,929	16,675
		中途退学率	14.2	14.1	14.3	14.3	15.6	15.2	15.0	15.1	16.1
埼玉公立	計	中途退学者数	3,478	3,198	3,622	3,923	4,428	4,365	4,636	4,513	4,603
		中途退学率	1.9	1.8	2.1	2.4	2.8	2.9	3.1	3.1	3.2
	全	中途退学者数	2,610	2,393	3,088	3,313	3,719	3,783	4,076	3,774	3,935
		中途退学率	1.5	1.4	1.9	2.0	2.4	2.5	2.8	2.7	2.8
	定	中途退学者数	868	805	534	610	709	582	560	739	668
		中途退学率	15.6	16.3	13.3	16.2	20.1	17.8	16.4	17.8	15.6

			13	14	15	16	17	18	19	20	21
全国公立	計	中途退学者数	70,528	60,633	55,668	53,261	53,117	53,251	50,529	45,742	39,412
		中途退学率	2.5	2.2	2.1	2.0	2.1	2.2	2.1	1.9	1.7
	全	中途退学者数	53,922	44,920	40,989	38,585	38,076	38,061	36,018	31,852	26,800
		中途退学率	2.0	1.7	1.6	1.5	1.6	1.6	1.6	1.4	1.2
	定	中途退学者数	16,606	15,713	14,679	14,676	15,041	15,190	14,511	13,890	12,612
		中途退学率	15.7	14.7	13.9	13.9	14.2	14.5	13.8	13.2	11.8
埼玉公立	計	中途退学者数	4,637	3,968	3,654	3,723	3,801	3,520	3,244	3,020	2,651
		中途退学率	3.3	3.0	2.8	2.9	3.0	2.9	2.7	2.5	2.2
	全	中途退学者数	3,888	3,319	3,072	3,165	3,139	2,844	2,558	2,289	1,963
		中途退学率	2.9	2.6	2.4	2.6	2.6	2.4	2.2	2.0	1.7
	定	中途退学者数	749	649	582	558	662	676	686	731	688
		中途退学率	17.0	15.0	14.0	12.7	14.5	14.5	14.1	14.2	12.6

※中途退学者数の単位は「人」、中途退学率の単位は「%」である。

平成 21 年度における都道府県別中途退学者数及び中途退学率(国・公・私立高等学校)

順位	都道府県	在籍者数(人)	中途退学者数(人)	中途退学率(%)
1	島根県	20,482	229	1.12%
2	福島県	62,077	704	1.13%
3	秋田県	30,217	383	1.27%
4	山口県	37,004	472	1.28%
5	長野県	60,361	790	1.31%
6	茨城県	82,162	1,122	1.37%
7	新潟県	67,364	954	1.42%
8	三重県	51,298	728	1.42%
9	山梨県	27,393	389	1.42%
10	岩手県	39,955	572	1.43%
11	山形県	35,089	503	1.43%
12	静岡県	101,924	1,491	1.46%
13	福井県	23,619	349	1.48%
14	富山県	27,823	412	1.48%
15	佐賀県	27,035	401	1.48%
16	香川県	25,787	389	1.51%
17	京都府	70,178	1,064	1.52%
18	岐阜県	56,672	862	1.52%
19	青森県	41,839	639	1.53%
20	石川県	32,023	490	1.53%
21	千葉県	145,276	2,293	1.58%
22	愛知県	188,109	3,006	1.60%
23	徳島県	21,296	343	1.61%
24	滋賀県	38,140	617	1.62%
25	北海道	145,661	2,418	1.66%
26	鹿児島県	52,831	887	1.68%
27	神奈川県	195,425	3,287	1.68%
28	宮城県	64,296	1,106	1.72%
29	奈良県	38,461	663	1.72%
30	和歌山県	29,815	514	1.72%
31	大分県	33,639	582	1.73%
32	愛媛県	39,751	690	1.74%
33	鳥取県	17,007	296	1.74%
34	福岡県	133,306	2,369	1.78%
35	広島県	75,564	1,350	1.79%
36	群馬県	54,074	980	1.81%
37	高知県	21,209	385	1.82%
38	長崎県	45,132	820	1.82%
39	東京都	309,138	5,635	1.82%
40	埼玉県	171,986	3,170	1.84%
41	栃木県	56,516	1,060	1.88%
42	兵庫県	142,817	2,693	1.89%
43	岡山県	54,384	1,045	1.92%
44	沖縄県	49,670	959	1.93%
45	宮崎県	34,384	702	2.04%
46	熊本県	52,474	1,130	2.15%
47	大阪府	220,328	5,004	2.27%
	合 計	3,350,991	56,947	1.70%

都道府県別中途退学率 過去 10 年間の全国順位の推移

年度	順位	中途退学率	
		埼玉県	全国
平成 12 年度	40 位 (ワースト 8 位)	2.8%	2.6%
平成 13 年度	44 位 (ワースト 4 位)	3.0%	2.6%
平成 14 年度	43 位 (ワースト 5 位)	2.6%	2.3%
平成 15 年度	44 位 (ワースト 4 位)	2.5%	2.2%
平成 16 年度	46 位 (ワースト 2 位)	2.5%	2.1%
平成 17 年度	45 位 (ワースト 3 位)	2.5%	2.1%
平成 18 年度	44 位 (ワースト 4 位)	2.4%	2.2%
平成 19 年度	35 位 (ワースト 13 位)	2.2%	2.1%
平成 20 年度	43 位 (ワースト 5 位)	2.2%	2.0%
平成 21 年度	40 位 (ワースト 8 位)	1.8%	1.7%

(文部科学省調べ 平成 16 年度以前は公・私立、平成 17 年度以降は国・公・私立を合わせた中途退学率に基づく全国順位)

2 本県公立高等学校における中途退学者の学年別構成比

全日制においては、昭和 63 年度まで第 1 学年と第 2 学年の割合が拮抗していたが、平成元年度以降、1 学年の占める割合が増加し、10 年度以降は 1 学年の割合が約 6 割を超える状況となっている。

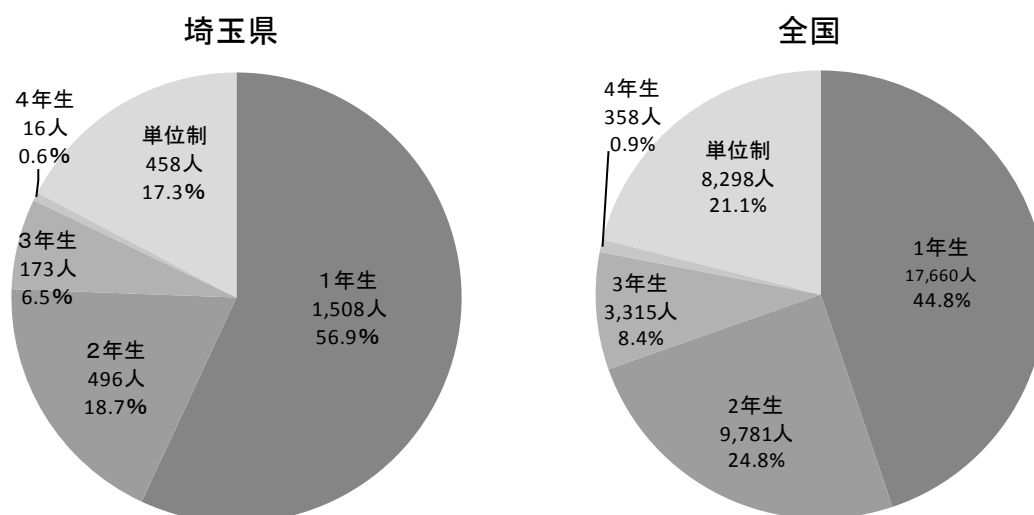
本県公立高等学校 学年別中途退学者の構成比の推移

年度	全日制				定時制				
	1 学年	2 学年	3 学年	単位制	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	単位制
昭和 59	50.3%	39.3%	10.4%	—	65.0%	21.5%	10.1%	3.4%	—
60	47.5%	42.6%	9.9%	—	66.5%	22.1%	9.8%	1.6%	—
61	43.9%	44.4%	11.7%	—	66.5%	21.0%	8.9%	3.6%	—
62	45.2%	42.1%	12.7%	—	66.9%	21.5%	9.7%	1.9%	—
63	45.2%	44.2%	10.6%	—	64.6%	22.9%	9.7%	2.8%	—
平成元年	49.5%	40.3%	10.3%	—	63.1%	22.3%	12.0%	2.6%	—
2	51.1%	39.0%	9.9%	—	63.5%	23.1%	10.3%	3.1%	—
3	51.5%	37.3%	11.2%	—	62.9%	22.4%	11.5%	3.2%	—
4	51.8%	37.6%	10.6%	—	66.9%	20.3%	10.1%	2.7%	—
5	53.8%	35.4%	10.8%	—	66.9%	19.1%	11.4%	2.6%	—
6	59.2%	31.8%	9.0%	—	53.7%	28.7%	15.0%	2.6%	—
7	56.0%	34.6%	9.4%	—	63.4%	20.5%	12.8%	3.3%	—
8	53.4%	36.2%	10.4%	—	65.7%	21.4%	9.0%	3.9%	—
9	55.8%	34.9%	9.3%	—	61.3%	23.9%	10.7%	4.1%	—
10	59.0%	32.4%	8.6%	—	62.9%	24.3%	9.6%	3.2%	—
11	62.9%	29.0%	8.1%	—	61.0%	22.3%	12.9%	3.8%	—
12	61.5%	29.5%	7.7%	1.3%	50.0%	19.9%	7.3%	3.6%	19.2%
13	63.8%	27.4%	7.3%	1.5%	50.1%	17.6%	7.7%	8.8%	15.8%
14	62.6%	28.2%	7.3%	1.9%	43.3%	14.9%	8.3%	1.9%	31.6%
15	62.6%	28.2%	7.1%	2.1%	44.5%	23.4%	11.0%	4.1%	17.0%
16	64.7%	25.9%	6.8%	2.6%	43.4%	17.6%	8.6%	2.3%	28.1%
17	65.0%	25.5%	6.8%	2.7%	42.3%	19.0%	7.9%	1.8%	29.0%
18	64.3%	25.5%	7.0%	3.2%	41.3%	13.0%	8.4%	2.7%	34.6%
19	62.1%	28.3%	6.3%	3.2%	47.7%	12.0%	5.8%	3.2%	31.3%
20	59.3%	27.3%	6.6%	6.8%	43.1%	12.4%	5.7%	1.1%	37.6%
21	63.2%	22.3%	7.3%	7.3%	39.0%	8.6%	4.4%	2.3%	45.8%

※平成12年度の調査から「単位制」は別枠となった。

平成 21 年度の学年別中途退学者の割合は、全日制・定時制合わせて、1 年生が 56.9%(1,508 人)、2 年生が 18.7%(496 人)、3 年生が 6.5%(173 人)、4 年生が 0.6%(16 人)、単位制の生徒が 17.3%(458 人)となっている。

平成 21 年度 埼玉県と全国の学年別中途退学者構成比の比較（公立高等学校）



全国との比較では、本県は1年生の中途退学者の割合が12.1ポイント高くなっている。そのため、「ゆとりとチャンスの埼玉プラン 埼玉県5か年計画」では、1年生の中途退学率及び中途退学者数を、平成 23 年度までにそれぞれ 3.4%以下、1,300 人以下にするという数値目標を掲げ、対策に取り組んでいる。

○ ゆとりとチャンスの埼玉プラン

公立高校 1 年生の中途退学者数及び中途退学率

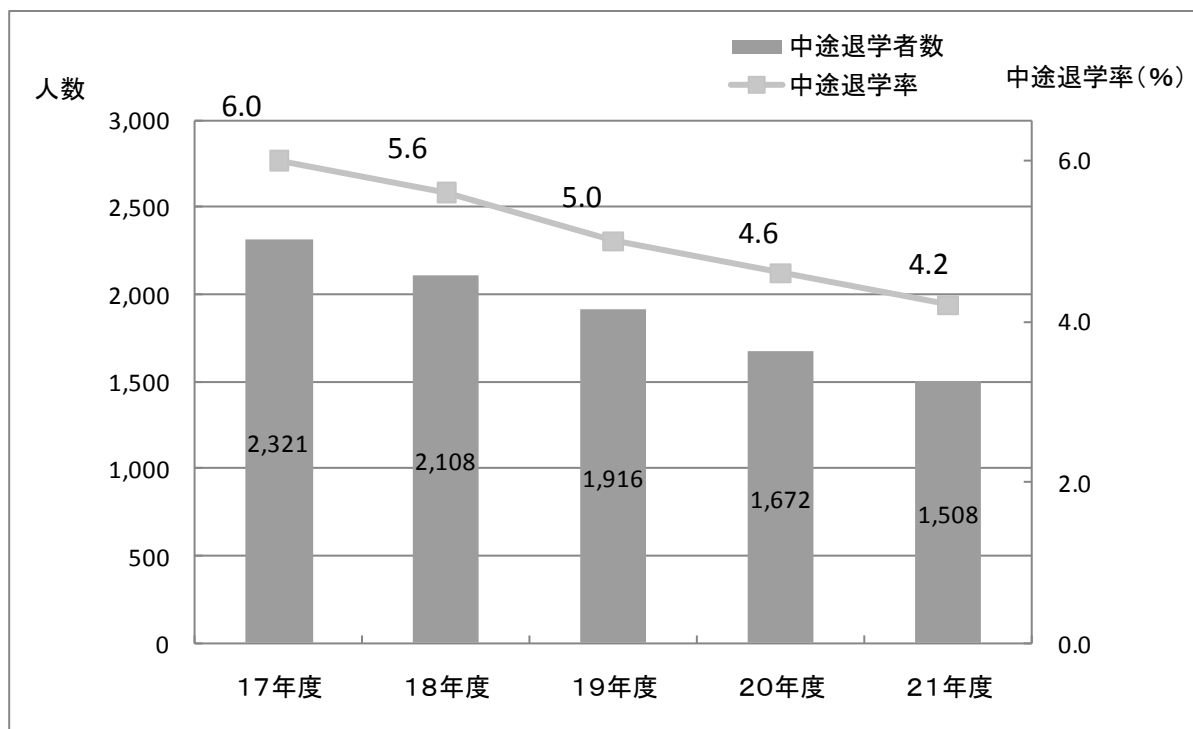
6.0%
2,321 人
【平成 17 年度】



3.4%以下
1,300 人以下
【平成 23 年度】

平成21年度における1年生の中途退学者数は全日制で1,508人、中途退学率は4.2%となっている。

埼玉県公立高等学校における過去5年間の1年生の中途退学者数・率の推移



	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
中途退学者数(人)	2,321	2,108	1,916	1,672	1,508
全日制	2,041	1,829	1,589	1,357	1,240
定時制	280	279	327	315	268
中途退学率(%)	6.0%	5.6%	5.0%	4.6%	4.2%
全日制	5.4%	5.0%	4.3%	3.9%	3.5%
定時制	33.0%	31.8%	35.5%	34.8%	27.6%

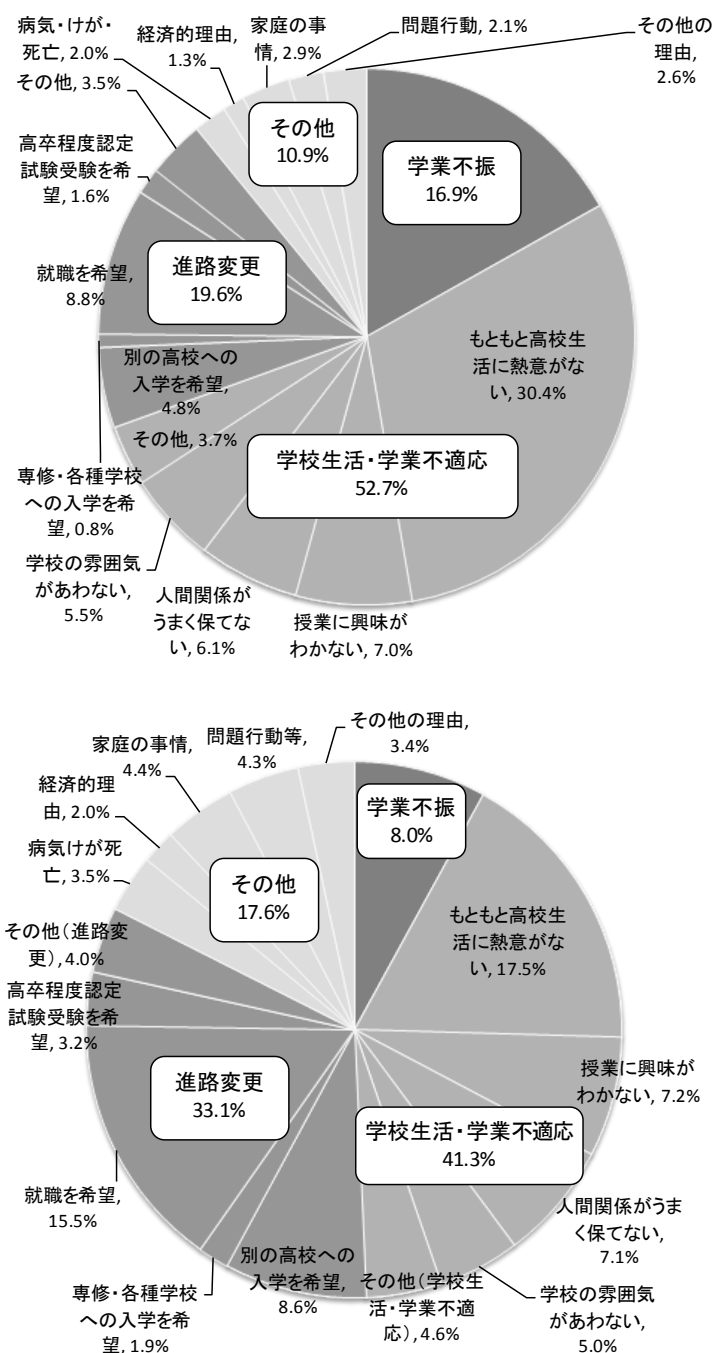
3 本県公立高等学校における中途退学者の理由別割合

本県の中途退学の理由別割合を全国のデータと比較すると、「学校生活・学業不適応」の割合が11.4ポイント、「学業不振」の割合が8.9ポイント高くなっている。

「学校生活・学業不適応」とは、「当該学校、高校生活又は授業に対する熱意、興味、関心、適応等の不足や喪失を原因とした退学」のことであるが、細かくは「もともと高校生活に熱意がない」、「授業に興味がない」、「人間関係がうまく保てない」、「学校の雰囲気があわない」、「その他」に分類されている。

このうち、本県では「もともと高校生活に熱意がない」が全国と比較して12.9ポイント高い。

中途退学の理由別割合 上：埼玉県（公立） 下：全国（公立）



本県における中途退学者理由別人数と割合の推移

		平成 12年度	平成 13年度	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度
学校生活・学業不 適応	もともと高校生活 に熱意がない	1206 (26.2%)	1168 (25.2%)	975 (24.6%)	803 (22.0%)	1040 (27.9%)	927 (24.4%)	934 (26.5%)	929 (28.6%)	902 (29.9%)	807 (30.4%)
	授業に興味があ わかない	442 (9.6%)	476 (10.3%)	411 (10.4%)	364 (10.0%)	440 (11.8%)	401 (10.5%)	393 (11.2%)	237 (7.3%)	184 (6.1%)	185 (7.0%)
	人間関係があ うまく保てない	300 (6.5%)	342 (7.4%)	277 (7.0%)	299 (8.2%)	277 (7.4%)	301 (7.9%)	299 (8.5%)	259 (8.0%)	231 (7.6%)	161 (6.1%)
	学校の雰囲気があ わかない	195 (4.2%)	301 (6.5%)	233 (5.9%)	195 (5.3%)	176 (4.7%)	252 (6.6%)	212 (6.0%)	221 (6.8%)	153 (5.1%)	146 (5.5%)
	その他	216 (4.7%)	245 (5.3%)	275 (6.9%)	203 (5.6%)	192 (5.2%)	152 (4.0%)	130 (3.7%)	128 (3.9%)	128 (4.2%)	97 (3.7%)
	計	2359 (51.2%)	2532 (54.6%)	2171 (54.7%)	1864 (51.0%)	2125 (57.1%)	2033 (53.5%)	1968 (55.9%)	1774 (54.7%)	1598 (52.9%)	1396 (52.7%)
学業不振		556 (12.1%)	468 (10.1%)	453 (11.4%)	487 (13.3%)	426 (11.4%)	445 (11.7%)	462 (13.1%)	443 (13.7%)	441 (14.6%)	447 (16.9%)
進路変更	別の高校への 入学を希望	215 (4.7%)	263 (5.7%)	191 (4.8%)	222 (6.1%)	144 (3.9%)	197 (5.2%)	148 (4.2%)	117 (3.6%)	102 (3.4%)	128 (4.8%)
	専修・各種学校 への入学を希望	78 (1.7%)	78 (1.7%)	67 (1.7%)	51 (1.4%)	41 (1.1%)	40 (1.1%)	36 (1.0%)	34 (1.0%)	38 (1.3%)	22 (0.8%)
	就職を希望	685 (14.9%)	626 (13.5%)	448 (11.3%)	462 (12.6%)	373 (10.0%)	395 (10.4%)	339 (9.6%)	300 (9.2%)	315 (10.4%)	234 (8.8%)
	高卒程度認定試 験受験を希望	53 (1.2%)	71 (1.5%)	45 (1.1%)	38 (1.0%)	39 (1.0%)	33 (0.9%)	50 (1.4%)	46 (1.4%)	31 (1.0%)	43 (1.6%)
	その他	77 (1.7%)	105 (2.3%)	62 (1.6%)	76 (2.1%)	63 (1.7%)	95 (2.5%)	82 (2.3%)	79 (2.4%)	87 (2.9%)	92 (3.5%)
	計	1108 (24.1%)	1143 (24.6%)	813 (20.5%)	849 (23.2%)	660 (17.7%)	760 (20.0%)	655 (18.6%)	576 (17.8%)	573 (19.0%)	519 (19.6%)
その他	病気・けが・死亡	80 (1.7%)	85 (1.8%)	70 (1.8%)	83 (2.3%)	103 (2.8%)	92 (2.4%)	74 (2.1%)	80 (2.5%)	68 (2.3%)	53 (2.0%)
	経済的理由	77 (1.7%)	66 (1.4%)	76 (1.9%)	59 (1.6%)	66 (1.8%)	77 (2.0%)	60 (1.7%)	88 (2.7%)	105 (3.5%)	35 (1.3%)
	家庭の事情	124 (2.7%)	132 (2.8%)	132 (3.3%)	128 (3.5%)	114 (3.1%)	137 (3.6%)	108 (3.1%)	100 (3.1%)	108 (3.6%)	78 (2.9%)
	問題行動	143 (3.1%)	119 (2.6%)	106 (2.7%)	90 (2.5%)	132 (3.5%)	85 (2.2%)	102 (2.9%)	88 (2.7%)	52 (1.7%)	55 (2.1%)
	その他の理由	156 (3.4%)	92 (2.0%)	147 (3.7%)	94 (2.6%)	97 (2.6%)	172 (4.5%)	91 (2.6%)	95 (2.9%)	75 (2.5%)	68 (2.6%)
	計	580 (12.6%)	494 (10.7%)	531 (13.4%)	454 (12.4%)	512 (13.8%)	563 (14.8%)	435 (12.4%)	451 (13.9%)	408 (13.5%)	289 (10.9%)

※中途退学の理由区分について

(文部科学省 平成21年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査《記入にあたって》より)

- ◎ 「学業不振」とは、高校入学後、学力不足のために授業の進度についていけず退学したことをいう。
- ◎ 「学校生活・学業不適合」とは、当該学校、高校生活又は授業に対する熱意、興味、関

心、適応等の不足や喪失を原因として退学したことをいう。

- 「もともと高校生活に熱意がない」とは、高校に入学する段階で熱意がない又は入学先が不本意として退学したことをいう。
- 「授業に興味がわからない」とは、入学時には高校に対する熱意や希望があったが、入学後、授業がつまらない、興味をもてない等の理由のために退学したことをいう。
- 「人間関係がうまく保てない」とは、生徒間でのトラブルや教師との問題により退学したことをいう。
- 「学校の雰囲気があわない」とは、入学時には高校に対する熱意や希望があったが、入学後、学校の教育・運営方針、環境等に不適応又は反発などの理由により退学したことをいう。
- 「その他」とは、上記以外の、例えば、交遊関係やアルバイト等による生活の乱れや、部活動での挫折による意欲喪失等の原因により退学したことをいう。
- ◎ 「進路変更」とは、在籍する高校以外の進路を積極的に希望し、退学したことをいう。
 - 「別の高校への入学を希望」とは、別の高校への入学を積極的に希望して退学したことをいう。
 - 「専修・各種学校への入学を希望」とは、専修学校、各種学校、職業能力開発施設への入学（所）を積極的に希望して退学したことをいう。
 - 「就職を希望」とは、就職することを積極的に希望して退学したことをいう。なお、家業を手伝うこととした者も含む。
 - 「高卒程度認定試験を受験希望」とは、高等学校卒業程度認定試験を受験することを積極的に希望して退学したことをいう。
 - 「その他」とは、上記以外の、例えば、結婚や、海外における学習等を積極的に希望して退学したことをいう。
- ◎ 「病気、けが、死亡」とは、病気がち等の理由のため欠席日数が多くなって退学した者や、病気や交通事故等によるけが、死亡により退学したことをいう。
- ◎ 「経済的理由」とは、保護者の事情等により、家計が困難になり退学したことをいう。
- ◎ 「家庭の事情」とは、家庭状況の変化によるもので経済的理由以外のもの、例えば、保護者の事情のために退学したことをいう。
- ◎ 「問題行動等」とは、例えば不良行為、触法行為等により懲戒処分を受け、それを契機にして退学にいたったことをいう。
- ◎ 「その他の理由」とは、理由が不明なもの、理由が複合していて分別不可能なものについて記入すること。

第2章 高等学校中途退学追跡調査について

1 趣旨

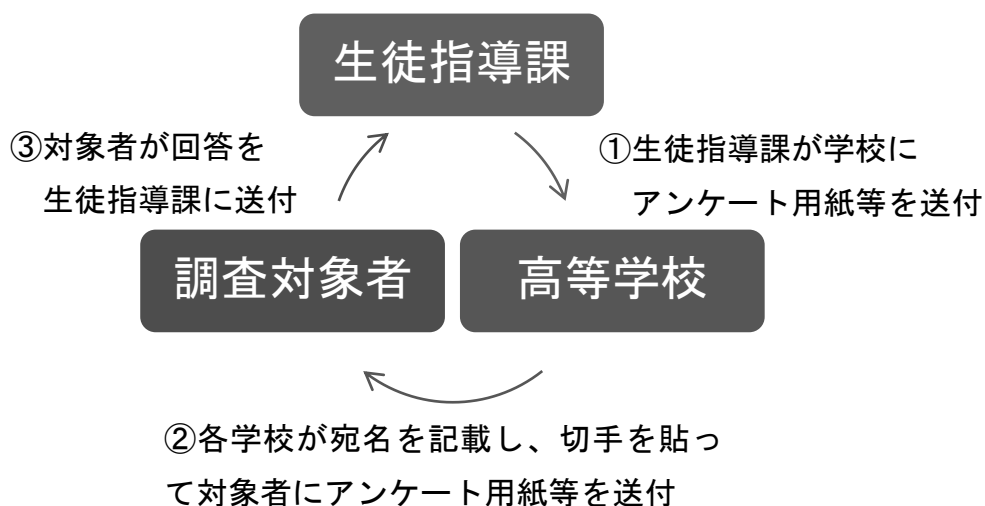
高等学校を中途退学した者に対して、中途退学に至った理由やその後の状況等について調査し、今後の指導の在り方や施策展開の資料とする。

2 調査対象

平成21年度中に中途退学した者全員（2,651人）を対象とする。

3 調査方法

- ① 生徒指導課が対象となる学校にアンケート用紙等を送付
- ② 各学校が対象者にアンケート用紙等を送付
- ③ 対象者が回答を生徒指導課に送付



4 有効回答率

平成22年10月から11月にかけて、平成21年度の中途退学者2,651人に学校から調査票を送付した。

平成22年11月1日から平成23年1月7日までの期間に生徒指導課に届いた回答数は351で、うち無回答のものが2であった。

また、学校が送付したものの、宛先不明等で学校に送付物が戻ってきた数が153であった。有効回答率は下記により14.0%となる。

有効回答率

$$(\text{回答数 } 351 - \text{無回答 } 2) \div (\text{対象者数 } 2,651 - \text{宛先不明等 } 153) \times 100 = 14.0\%$$

※宛先不明数調査結果（学校回答）

	1年	2年	3年	4年	単位制	計
合計	64	30	19	3	37	153
全日制	44	26	10	0	5	85
定時制	20	4	9	3	32	68

5 過去の調査との比較

中途退学者に対する追跡調査は過去に2回行っており、今回の調査は5年ぶりとなる。

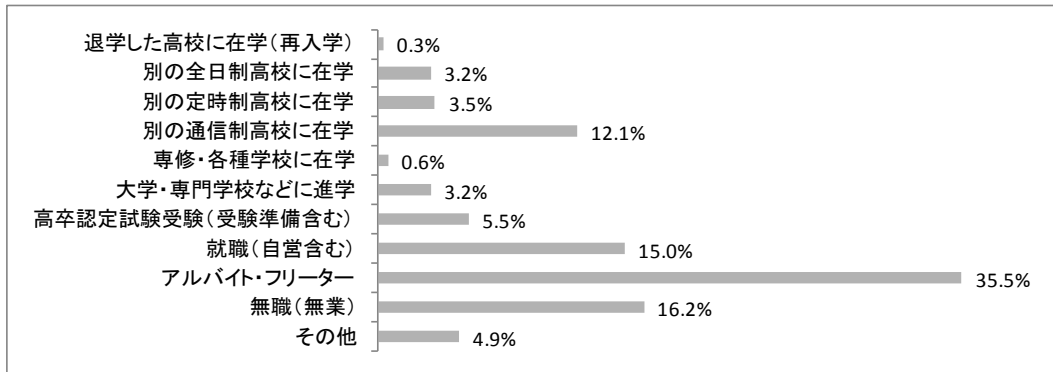
	12年度調査	17年度調査	22年度調査
実施時期	電話：9月～10月 郵送：10月～11月 面接：11月～1月	電話：10月～11月 郵送：12月	郵送：10月～11月
対象	中途退学後3年以内の者 （平成9・10・11年度中途退学者）	中途退学後1年以内の者 （平成16年度中途退学者）	中途退学後1年以内の者 （平成21年度中途退学者）
回答数	電話：全日制 828人 定時制 195人 合計 1,023人 （各年度2人程度）	電話：全日制 684人 定時制 98人 合計 782人 （全日制6人程度・定時制3人程度）	
	郵送：全日制 136人 定時制 30人 合計 166人	郵送：全日制 95人 定時制 10人 合計 105人	郵送：351人 （うち無回答2人）
	面接：全日制 17人 定時制 5人 合計 22人		
質問数	35問	50問	31問

第3章 調査結果

1 概要

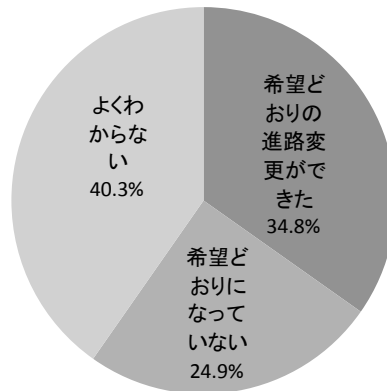
【現在の状況】

「(6)現在の状況について教えてください」では、「アルバイト・フリーター」が35.5%で最も多い。以下、「無職（無業）」16.2%、「就職（自営を含む）」15.0%、「別の通信制高校に在学」12.1%の順である。



グラフ 1 「(6)現在の状況について教えてください」

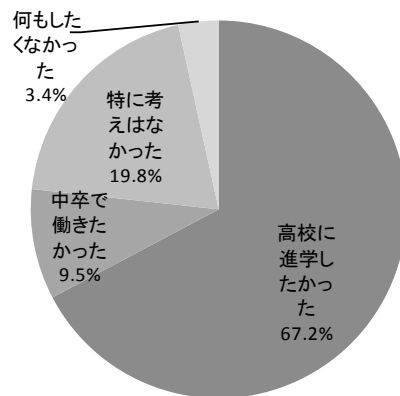
「(7)現在の状況は、高校をやめたときの希望どおりの状況ですか」では「希望どおりの進路変更ができた」34.8%、「希望どおりにない」24.9%である。



グラフ 2 「(7)現在の状況は、高校をやめたときの希望どおりの状況ですか」

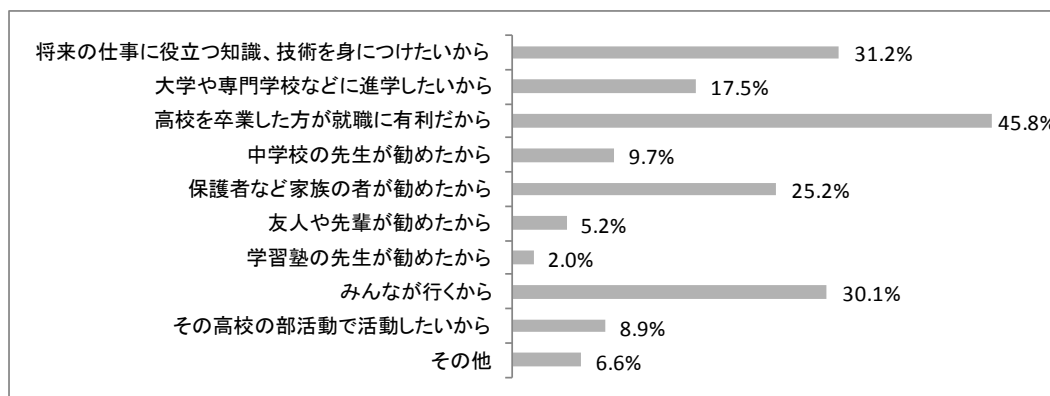
【高校入学前】

「(10) 中学時代、中学卒業後の進路をどのように考えていましたか」では、「高校に進学したかった」が67.2%であり、そのほかに、「特に考えはなかった」が19.8%、「中卒で働きたかった」が9.5%、「何もしたくなかった」が3.4%であった。



グラフ 3 「(10) 中学時代、中学卒業後の進路をどのように考えていましたか」

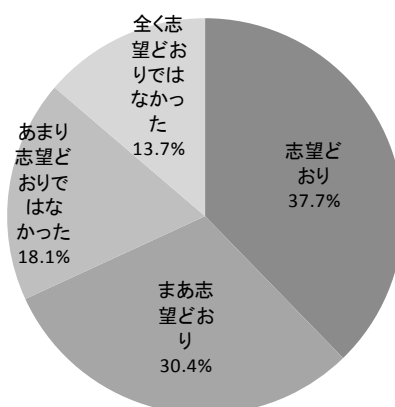
「(12) 高校に進学した理由はどのようなものでしたか【複数回答可】」では、「高校を卒業した方が就職に有利だから」が 45.8%と最も多く、次いで「将来の仕事に役立つ知識、技術を身につけたいから」が 31.2%、「みんなが行くから」が 30.1%となっている。



グラフ 4 「(12) 高校に進学した理由はどのようなものでしたか【複数回答可】」

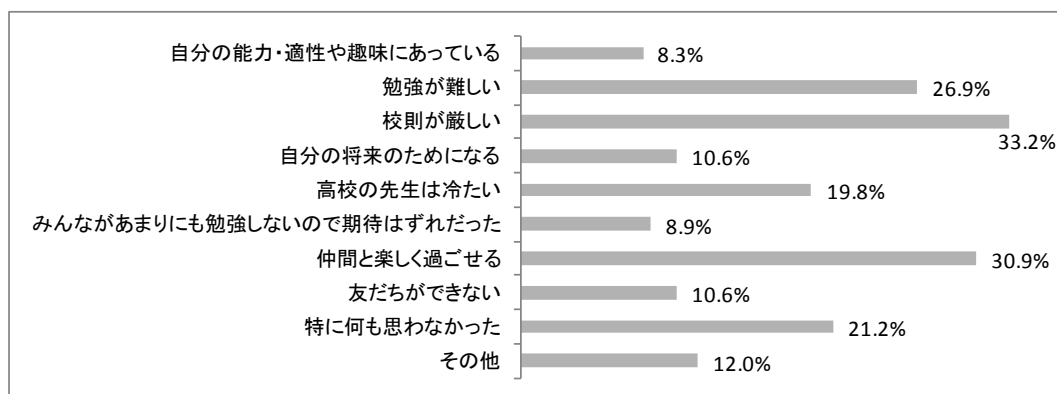
【高校入学後】

「(14) 入学した高校は、志望した高校でしたか」では、「あまり志望どおりではなかった」18.1%、「全く志望どおりではなかった」13.7%を合わせ、志望どおりでない学校に入学した者の割合は 3 割以上である。



グラフ 5 「(14) 入学した高校は、志望した高校でしたか」

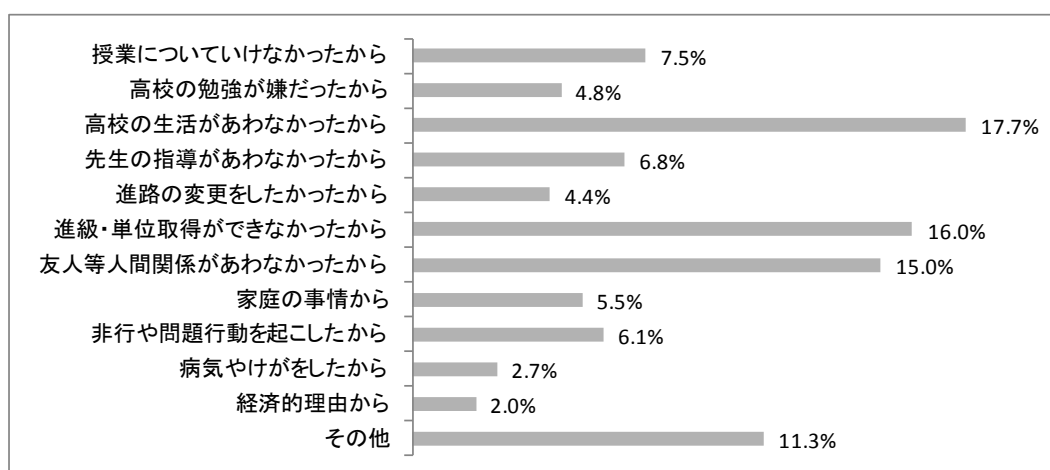
「(15) 高校に入学してみて、どう思いましたか【複数回答可】」では「校則が厳しい」33.2%、「仲間と楽しく過ごせる」30.9%、「勉強が難しい」26.9%の順である。



グラフ 6 「(15) 高校に入学してみて、どう思いましたか【複数回答可】」

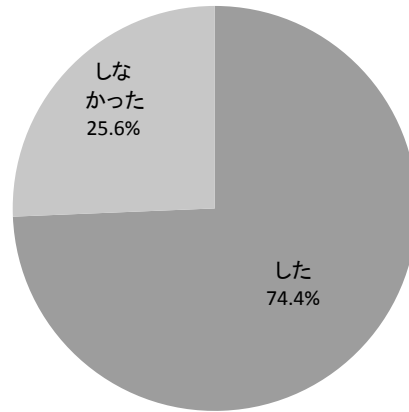
【高校をやめるにあたって】

「(21) 高校をやめた理由に一番近いものを、次の中から一つだけあげてください」では、「高校の生活があわなかったから」が17.7%、「進級・単位取得ができなかったから」が16.0%、「友人等人間関係があわなかったから」が15.0%である。



グラフ 7 「(21) 高校をやめた理由に一番近いものを、次の中から一つだけあげてください」

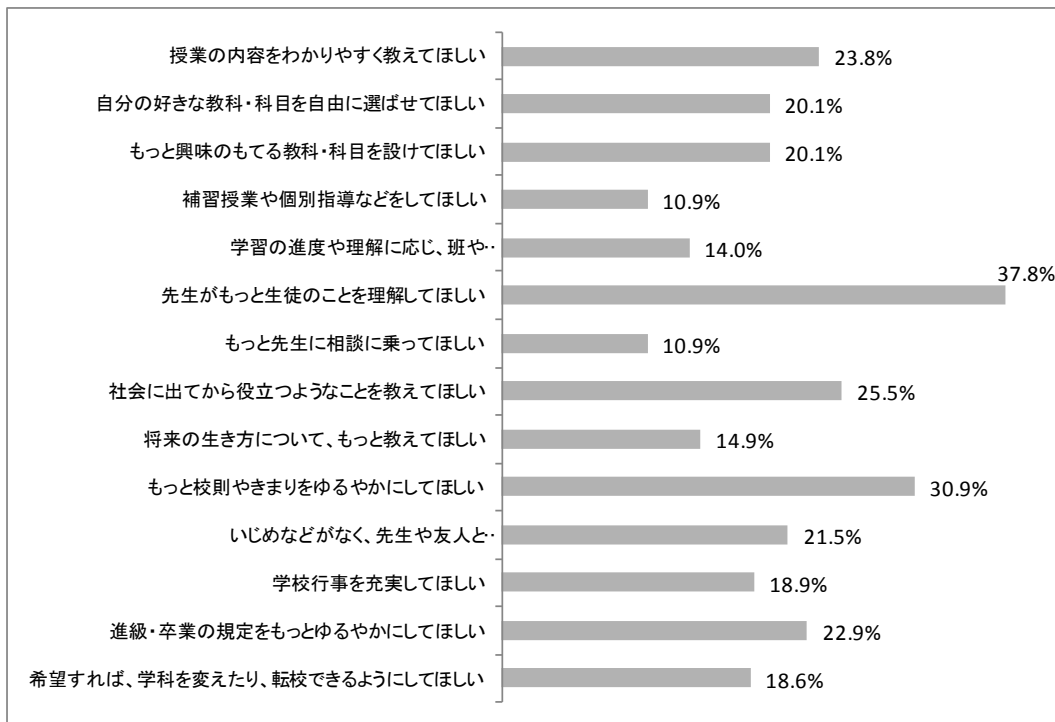
「(22) 高校をやめることについて誰かに相談しましたか」では、25.6%が「しなかった」と答えている。



グラフ 8 「(22) 高校をやめることについて誰かに相談しましたか」

【高校をやめてから】

「(27) 高校での生活を振り返って、高校にどのようなことを望みますか【複数回答可】」では、「先生がもっと生徒のことを理解してほしい」が 37.8%、「もっと校則やきまりをゆるやかにしてほしい」が 30.9%、「社会に出てから役立つようなことを教えてほしい」が 25.5% の順となっている。

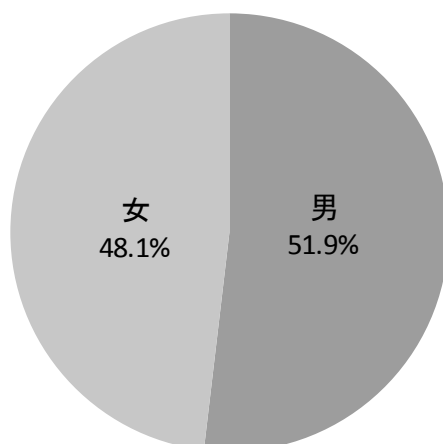


グラフ 9 「(27) 高校での生活を振り返って、高校にどのようなことを望みますか【複数回答可】」

2 調査結果

■ 基本データ

(1) 性別を教えてください。



	男	女	計
全体	181	168	349
	51.9%	48.1%	100%

全日制	144	126	270
	53.3%	46.7%	100%
定時制	31	41	72
	43.1%	56.9%	100%

※全定別の数字は(4)の無回答7を除く

普通科	98	126	224
	43.8%	56.3%	100%
専門学科	73	26	99
	73.7%	26.3%	100%
総合学科	9	15	24
	37.5%	62.5%	100%

※学科別の数字は(5)の無回答2を除く

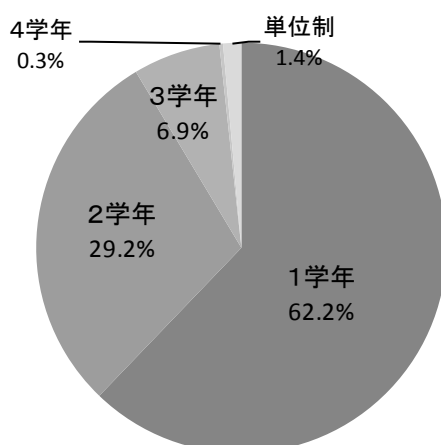
- 全体では、男女比はほぼ半々である。
- 文部科学省調査では中途退学者について男女の別は調査していない。

〈参考〉過去の調査データ

	男	女	計
H17	396	386	782
	50.6%	49.4%	100%
H12	575	448	1,023
	56.2%	43.8%	100%

※平成12年度及び17年度調査の数字は「電話等による聞き取り調査」による。

(2) 高校をやめたときの学年を教えてください。



	1学年	2学年	3学年	4学年	単位制	計
全体	217	102	24	1	5	349
	62.2%	29.2%	6.9%	0.3%	1.4%	100%

全日制	169	82	19	0	0	270
	62.6%	30.4%	7.0%	0.0%	0.0%	100%
定時制	43	18	5	1	5	72
	59.7%	25.0%	6.9%	1.4%	6.9%	100%

※全定別の数字は(4)の無回答7を除く

普通科	134	71	14	1	4	224
	59.8%	31.7%	6.3%	0.4%	1.8%	100%
専門学科	74	18	7	0	0	99
	74.7%	18.2%	7.1%	0.0%	0.0%	100%
総合学科	7	13	3	0	1	24
	29.2%	54.2%	12.5%	0.0%	4.2%	100%

※学科別の数字は(5)の無回答2を除く

- 全日制・定時制とも、1学年が約6割を占めている。
- 専門学科では1学年が約3/4を、総合学科では2学年が半数以上を占めている（県内の総合学科はすべて単位制のため、実際には2年目にやめた者を指す）。

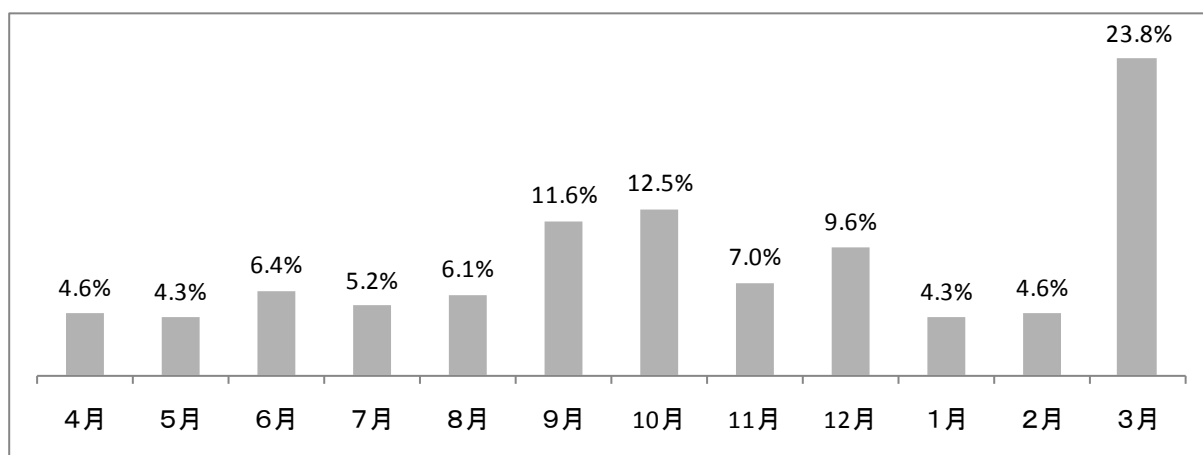
〈参考〉過去の調査データ

	1学年	2学年	3学年	4学年	単位制	計
H17	395	291	78	5	13	782
	50.5%	37.2%	10.0%	0.6%	1.7%	100%
H12	499	391	129	4	-	1,023
	48.8%	38.2%	12.6%	0.4%	0.0%	100%

※平成12年度及び17年度調査の数字は「電話等による聞き取り調査」による。

※平成12年度調査では「単位制」の分類はない。

(3) 高校をやめた月を教えてください。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全体	16	15	22	18	21	40	43	24	33	15	16	82	345
	4.6%	4.3%	6.4%	5.2%	6.1%	11.6%	12.5%	7.0%	9.6%	4.3%	4.6%	23.8%	100%

※無回答 4 を除く

全日制	11	11	16	8	16	33	36	21	23	13	15	64	267
	4.1%	4.1%	6.0%	3.0%	6.0%	12.4%	13.5%	7.9%	8.6%	4.9%	5.6%	24.0%	100%
定時制	5	4	6	10	5	6	7	3	8	1	0	16	71
	7.0%	5.6%	8.5%	14.1%	7.0%	8.5%	9.9%	4.2%	11.3%	1.4%	0.0%	22.5%	100%

※全定別の数字は(4)の無回答 7 を除く

普通科	11	10	15	11	13	25	20	16	22	12	11	56	222
	5.0%	4.5%	6.8%	5.0%	5.9%	11.3%	9.0%	7.2%	9.9%	5.4%	5.0%	25.2%	100%
専門学科	4	2	6	3	7	12	19	7	10	3	5	19	97
	4.1%	2.1%	6.2%	3.1%	7.2%	12.4%	19.6%	7.2%	10.3%	3.1%	5.2%	19.6%	100%
総合学科	1	3	1	4	1	3	4	1	0	0	0	6	24
	4.2%	12.5%	4.2%	16.7%	4.2%	12.5%	16.7%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	100%

※学科別の数字は(5)の無回答 2 を除く

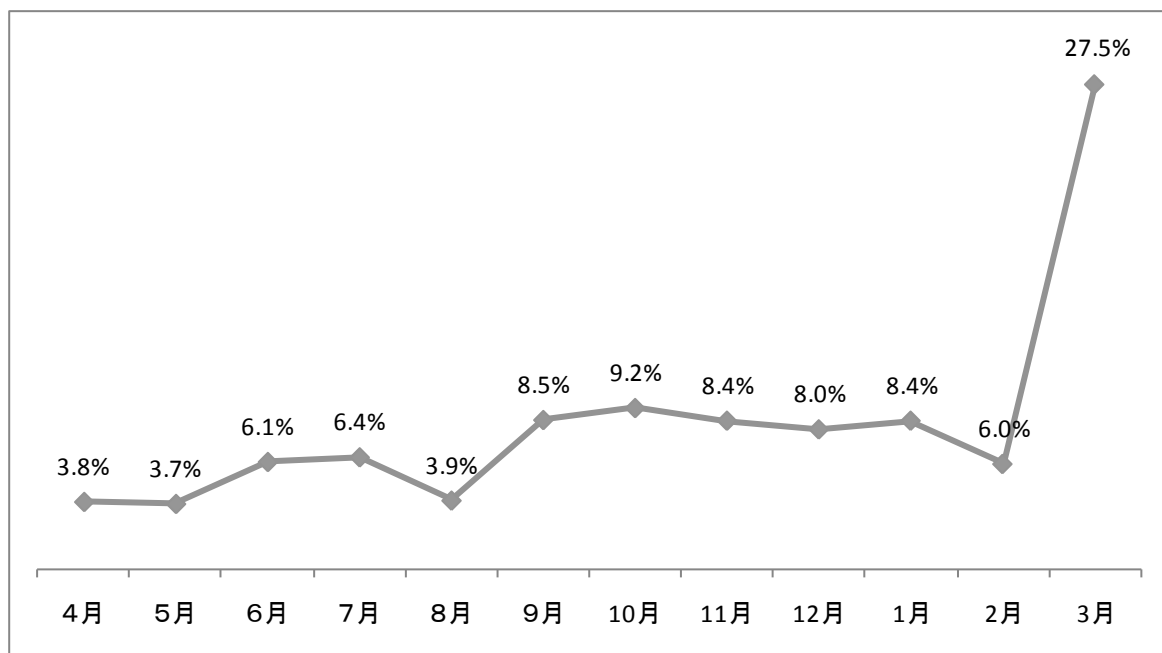
- 全体では3月の退学が最も多く(23.8%)、次いで10月(12.5%)、9月(11.6%)の退学が多くなっている。
- 定時制課程では、7月をピークに早い段階で退学する者の割合が比較的高い。
- 専門学科では、8月から10月にかけて退学する者の割合が比較的高い。
- 過去の調査との比較では、3月に退学する者の割合が低下している。

〈参考〉過去の調査データ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H17	9	25	40	34	21	49	55	64	67	91	54	273	782
	1.2%	3.2%	5.1%	4.3%	2.7%	6.3%	7.0%	8.2%	8.6%	11.6%	6.9%	34.9%	100%
H12	13	43	52	62	22	73	99	80	86	70	41	382	1,023
	1.3%	4.2%	5.1%	6.1%	2.2%	7.1%	9.7%	7.8%	8.4%	6.8%	4.0%	37.3%	100%

※平成12年度及び17年度調査の数字は「電話等による聞き取り調査」による。

〈参考〉平成21年度の月別中途退学者数調査結果



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全体	102	99	162	169	104	225	243	224	211	224	159	729	2,651
	3.8%	3.7%	6.1%	6.4%	3.9%	8.5%	9.2%	8.4%	8.0%	8.4%	6.0%	27.5%	100%
全日制	53	63	110	111	89	177	177	179	170	173	121	540	1,963
	2.7%	3.2%	5.6%	5.7%	4.5%	9.0%	9.0%	9.1%	8.7%	8.8%	6.2%	27.5%	100%
定時制	49	36	52	58	15	48	66	45	41	51	38	189	688
	7.1%	5.2%	7.6%	8.4%	2.2%	7.0%	9.6%	6.5%	6.0%	7.4%	5.5%	27.5%	100%

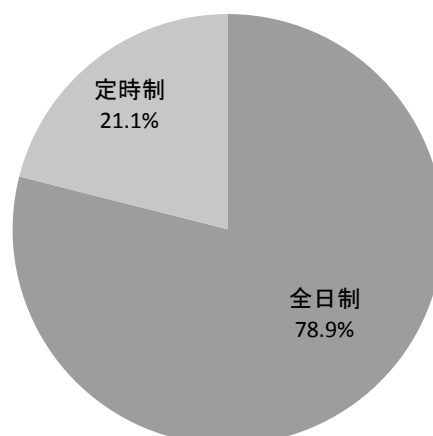
(4) 中途退学した高校の課程を教えてください。

	全日制	定時制	計
全体	270	72	342
	78.9%	21.1%	100%

※無回答 7 を除く

普通科	176	46	222
	79.3%	20.7%	100%
専門学科	85	11	96
	88.5%	11.5%	100%
総合学科	9	14	23
	39.1%	60.9%	100%

※学科別の数字は(5)の無回答 1 を除く



- 文部科学省の調査では、全日制 1,963 人、74.0%、定時制 688 人、26.0%となっている。

〈参考〉過去の調査データ

	全日制	定時制	計
H17	684	98	782
	87.5%	12.5%	100%
H12	828	195	1,023
	80.9%	19.1%	100%

※平成12年度及び17年度調査の数字は「電話等による聞き取り調査」による。

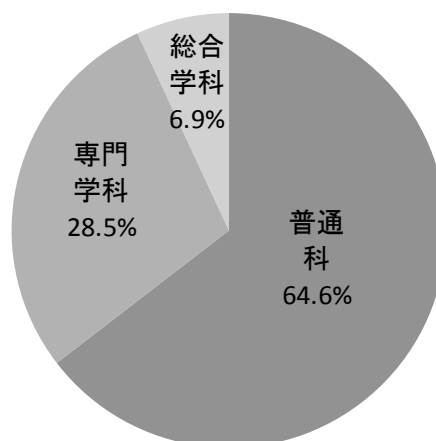
(5) 中途退学した高校の学科を教えてください。

	普通科	専門学科	総合学科	計
全体	224	99	24	347
	64.6%	28.5%	6.9%	100%

※無回答2を除く

全日制	176	85	9	270
	65.2%	31.5%	3.3%	100%
定時制	46	11	14	71
	64.8%	15.5%	19.7%	100%

※全定別の数字は(4)の無回答6を除く



- 文部科学省の調査では、全日制中途退学者 1,963 人のうち、1,249 人(63.6%)が普通科、660 人(33.6%)が専門学科、54 人(2.8%)が総合学科である。
- 文部科学省の調査では、全日制のうち普通科の中途退学率が 1.5%、専門学科の中途退学率が 2.7%、総合学科の中途退学率が 1.1%である。
- 過去の調査との比較では、専門学科の中途退学者の割合が増加傾向にある。

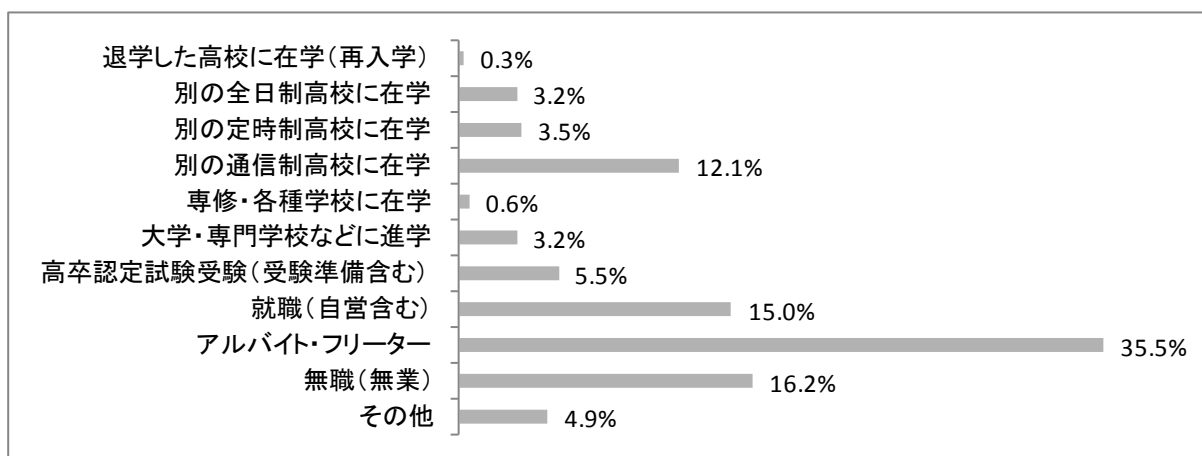
〈参考〉過去の調査データ

	普通科	専門学科	総合学科	計
H17	570	195	17	782
	72.9%	24.9%	2.2%	100%
H12	773	235	15	1,023
	75.6%	23.0%	1.5%	100%

※平成12年度及び17年度調査の数字は「電話等による聞き取り調査」による。

■ 現在の状況

(6) 現在の状況について教えてください。



	退学した高校に在学(再入学)	別の全日制高校に在学	別の定時制高校に在学	別の通信制高校に在学	専修・各種学校に在学	大学・専門学校などに進学	高卒認定試験受験(受験準備含む)	就職(自営含む)	アルバイト・フリーター	無職(無業)	その他	計
全体	1	11	12	42	2	11	19	52	123	56	17	346
	0.3%	3.2%	3.5%	12.1%	0.6%	3.2%	5.5%	15.0%	35.5%	16.2%	4.9%	100%

※多重回答エラー:2 及び無回答 1 を除く

全日制	1	9	12	35	2	7	16	40	96	38	12	268
	0.4%	3.4%	4.5%	13.1%	0.7%	2.6%	6.0%	14.9%	35.8%	14.2%	4.5%	100%
定時制	0	2	0	6	0	4	2	10	25	17	5	71
	0.0%	2.8%	0.0%	8.5%	0.0%	5.6%	2.8%	14.1%	35.2%	23.9%	7.0%	100%

※全定別の数字は(4)の無回答 7 を除く

普通科	0	6	7	26	2	11	14	31	80	32	13	222
	0.0%	2.7%	3.2%	11.7%	0.9%	5.0%	6.3%	14.0%	36.0%	14.4%	5.9%	100%
専門 学科	1	5	4	9	0	0	4	18	36	17	4	98
	1.0%	5.1%	4.1%	9.2%	0.0%	0.0%	4.1%	18.4%	36.7%	17.3%	4.1%	100%
総合 学科	0	0	1	7	0	0	1	2	6	7	0	24
	0.0%	0.0%	4.2%	29.2%	0.0%	0.0%	4.2%	8.3%	25.0%	29.2%	0.0%	100%

※学科別の数字は(5)の無回答 2 を除く

- 「アルバイト・フリーター」の割合が 1/3 以上 (35. 5%) である。以下、「無職(無業)」16. 2%、「就職(自営を含む)」15. 0%、別の通信制高校に在学 12. 1%、の順に多い。
- その他の回答としては「主婦」「子育て」等があった。
- 定時制課程では「無職(無業)」と回答した率が 23. 9%と高くなっている。
- 過去の調査との比較では、「無職(無業)」の回答が増加している。

〈参考〉過去の調査データ

	退学した 高校に 在学(再 入学)	別の全 日制高 校に在 学	別の定 時制高 校に在 学	別の通 信制高 校に在 学	専修・各 種学校 に在学	大学・専 門学校 などに 進学	高卒認 定試験 受験(受 験準備含 む)	就職(自 営含む)	アルバイ ト・フリー ター	無職(無 業)	その他	不明	計
H17	4	20	50	88	13	3	38	110	288	73	32	63	782
	0.5%	2.6%	6.4%	11.3%	1.7%	0.4%	4.9%	14.1%	36.8%	9.3%	4.1%	8.1%	100%
H12	13	20	46	48	19	25	42	239	329	93	71	78	1,023
	1.3%	2.0%	4.5%	4.7%	1.9%	2.4%	4.1%	23.4%	32.2%	9.1%	6.9%	7.6%	100%

※平成 12 年度及び 17 年度調査の数字は「電話等による聞き取り調査」による。

(7) 現在の状況は、高校をやめたときの希望どおりの状況ですか。

	希望どおりの 進路変更が できた	希望どおりに なっていない	よく わからない	計
全体	120	86	139	345
	34.8%	24.9%	40.3%	100%

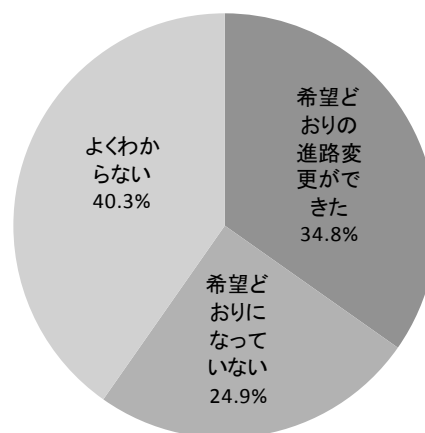
※無回答 4 を除く。

全日制	95	62	110	267
	35.6%	23.2%	41.2%	100%
定時制	22	23	26	71
	31.0%	32.4%	36.6%	100%

※全定別の数字は(4)の無回答 7 を除く

普通科	82	48	91	221
	37.1%	21.7%	41.2%	100%
専門学科	29	30	40	99
	29.3%	30.3%	40.4%	100%
総合学科	9	7	7	23
	39.1%	30.4%	30.4%	100%

※学科別の数字は(5)の無回答 2 を除く

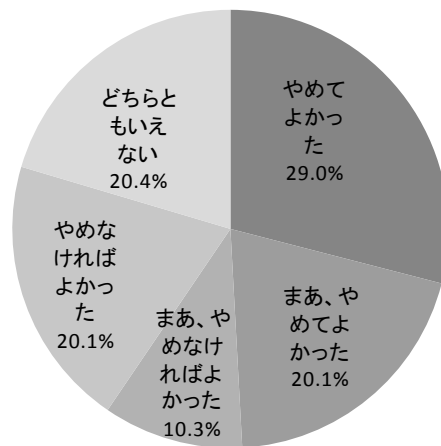


- 「希望どおりの進路変更ができた」という回答は約 1/3 である。
- 定時制の方が「希望どおりになっていない」割合が高い。
- 専門学科の方が「希望どおりになっていない」割合が高い。
- 過去の調査との比較では、「希望どおりの進路変更ができた」の割合が低下し、「希望どおりになっていない」の割合が高くなっている。

〈参考〉過去の調査データ

	希望どおりの 進路変 更ができた	希望どおりに なってい ない	よく わからない	不明	計
H17	38	23	37	7	105
	36.2%	21.9%	35.2%	6.7%	100%
H12	69	29	67	1	166
	41.6%	17.5%	40.4%	0.6%	100%

(8) 高校をやめたことについて現在どのように考えていますか。



	やめてよかった	まあ、やめてよかった	まあ、やめなければよかった	やめなければよかった	どちらともいえない	計
全体	101	70	36	70	71	348
	29.0%	20.1%	10.3%	20.1%	20.4%	100%

※無回答1を除く

全日制	77	57	31	53	51	269
	28.6%	21.2%	11.5%	19.7%	19.0%	100%
定時制	21	13	5	16	17	72
	29.2%	18.1%	6.9%	22.2%	23.6%	100%

※全定別の数字は(4)の無回答7を除く

普通科	69	47	22	44	42	224
	30.8%	21.0%	9.8%	19.6%	18.8%	100%
専門学科	24	17	14	21	22	98
	24.5%	17.3%	14.3%	21.4%	22.4%	100%
総合学科	7	5	0	5	7	24
	29.2%	20.8%	0.0%	20.8%	29.2%	100%

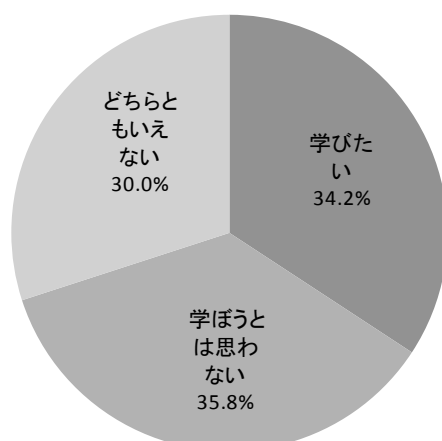
※学科別の数字は(5)の無回答2を除く

- 一番多かったのは「やめてよかった」(29.0%)であり、「まあ、やめてよかった」(20.1%)を合わせると、やめてよかったという回答は約半数になる。
- 普通科と専門学科の比較では、専門学科の方が「まあ、やめなければよかった」「やめなければよかった」の割合が高い(普通科計29.4%、専門学科計35.7%)。

〈参考〉過去の調査データ

	やめてよかった	まあ、やめてよかった	まあ、やめなければよかった	やめなければよかった	不明	計
H17	31	30	24	15	5	105
	29.5%	28.6%	22.9%	14.3%	4.8%	100%
H12	-	-	-	-	-	-
	34.9%	30.7%	10.2%	19.9%	4.2%	100%

(9) 現在学校に所属していない人に伺います。将来学校で学びたいと思いますか。



※設問(6)「現在の状況について教えてください。」において、「高卒認定試験受験(受験準備含む)」、「就職(自営含む)」、「アルバイト・フリーター」、「無職(無業)」、「その他」を対象として集計。

	学びたい	学ぼうとは思わない	どちらともいえない	計
全体	89	93	78	260
	34.2%	35.8%	30.0%	100%

※無回答7を除く

全日制	64	78	57	199
	32.2%	39.2%	28.6%	100%
定時制	22	13	20	55
	40.0%	23.6%	36.4%	100%

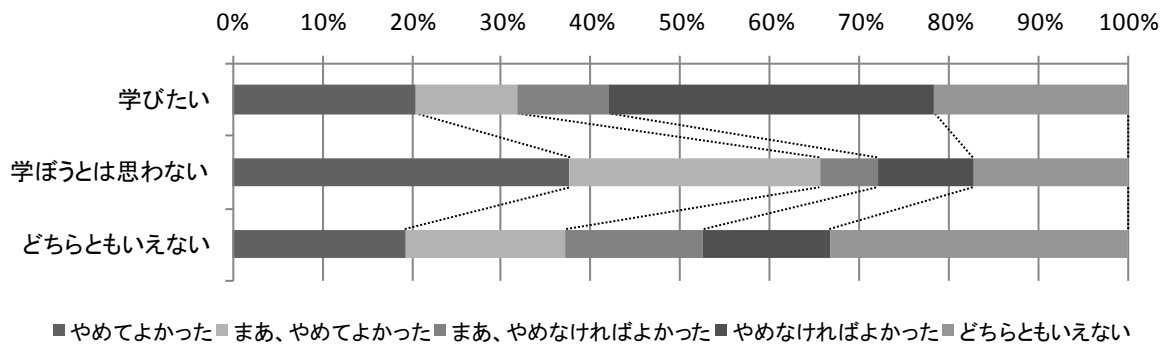
※全定無回答6を除く

普通科	59	60	49	168
	35.1%	35.7%	29.2%	100%
専門学科	25	30	20	75
	33.3%	40.0%	26.7%	100%
総合学科	5	1	9	15
	33.3%	6.7%	60.0%	100%

※無回答2を除く

- 「学びたい」という回答が約1/3である。
- 全日制・定時制の比較では、全日制の方が「学ぼうと思わない」の割合が高い。
- 設問(8)「高校をやめたことについて現在どのように考えていますか。」とのクロス集計では、「学びたい」と回答したものの88人のうち「やめなければよかった」と回答している者が32人(36.4%)で最も割合が高い。一方、「学ぼうとは思わない」と回答した者93人のうち「やめてよかった」と回答している者が35人(37.6%)で最も割合が高い

(8)「高校をやめたことについて現在どのように考えていますか。」とのクロス集計



	やめてよかった	まあ、やめてよかった	まあ、やめなければよかった	やめなければよかった	どちらともいえない	計
学びたい	18	10	9	32	19	88
	20.5%	11.4%	10.2%	36.4%	21.6%	100%
学ぼうとは思わない	35	26	6	10	16	93
	37.6%	28.0%	6.5%	10.8%	17.2%	100%
どちらともいえない	15	14	12	11	26	78
	19.2%	17.9%	15.4%	14.1%	33.3%	100%
計	68	50	27	53	61	259
	26.3%	19.3%	10.4%	20.5%	23.6%	100%

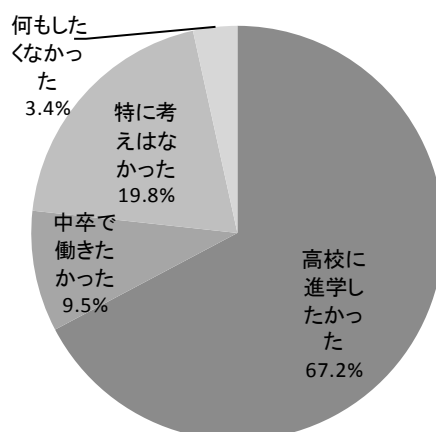
※設問(8)の無回答1を除く

〈参考〉過去の調査データ

	学びたい	学ぼうとは思わない	不明	計
H17	39	41	25	105
	37.1%	39.0%	23.8%	100%
H12	54	40	10	104
	51.9%	38.5%	9.6%	100%

■ 高校入学前

(10) 中学時代、中学卒業後の進路をどのように考えていましたか。



	高校に進学したかった	中卒で働きたかった	特に考えはなかった	何もしなかった	計
全体	234	33	69	12	348
	67.2%	9.5%	19.8%	3.4%	100%

※無回答1を除く

全日制	188	23	53	5	269
	69.9%	8.6%	19.7%	1.9%	100%
定時制	42	8	15	7	72
	58.3%	11.1%	20.8%	9.7%	100%

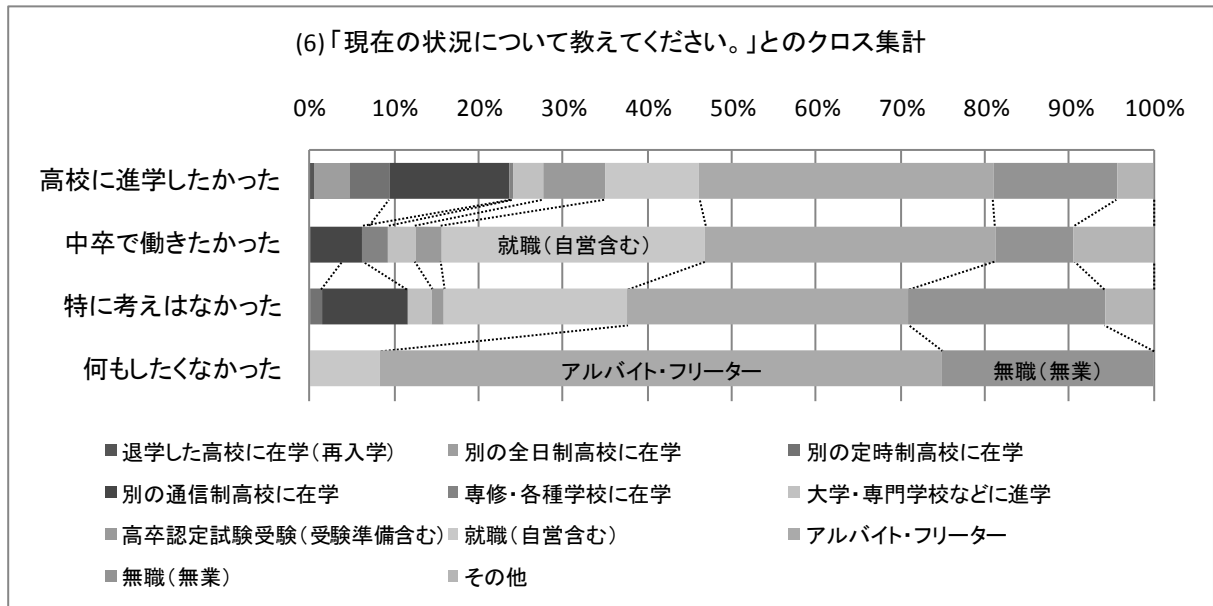
※全定別の数字は(4)の無回答7を除く

普通科	155	19	43	7	224
	69.2%	8.5%	19.2%	3.1%	100%
専門学科	64	10	20	4	98
	65.3%	10.2%	20.4%	4.1%	100%
総合学科	14	3	6	1	24
	58.3%	12.5%	25.0%	4.2%	100%

※学科別の数字は(5)の無回答2を除く

- 全体では「高校に進学したかった」が 67.2%であるが、課程別の比較では全日制が 69.9%であるのに対し、定時制は 58.3%と 11.6 ポイント開きがある。
- 専門学科、総合学科の方が、「高校に進学したかった」の割合が低くなっている。
- 設問(6)「現在の状況について教えてください。」とのクロス集計では、「中卒で働きたかった」と回答したもののうち 34.4%が「アルバイト・フリーター」、31.3%が「就職（自営含む）」となっており、合わせて約 65%の者が働いていることになる。また、「特に考えはなかった」と回答した者については、「アルバイト・フ

リーター」に次いで、「無職（無業）」と回答したものが約 1/4 と高くなっている。
 「何もしたくなかった」と回答した者で、現在学校に所属する者はいなかった。

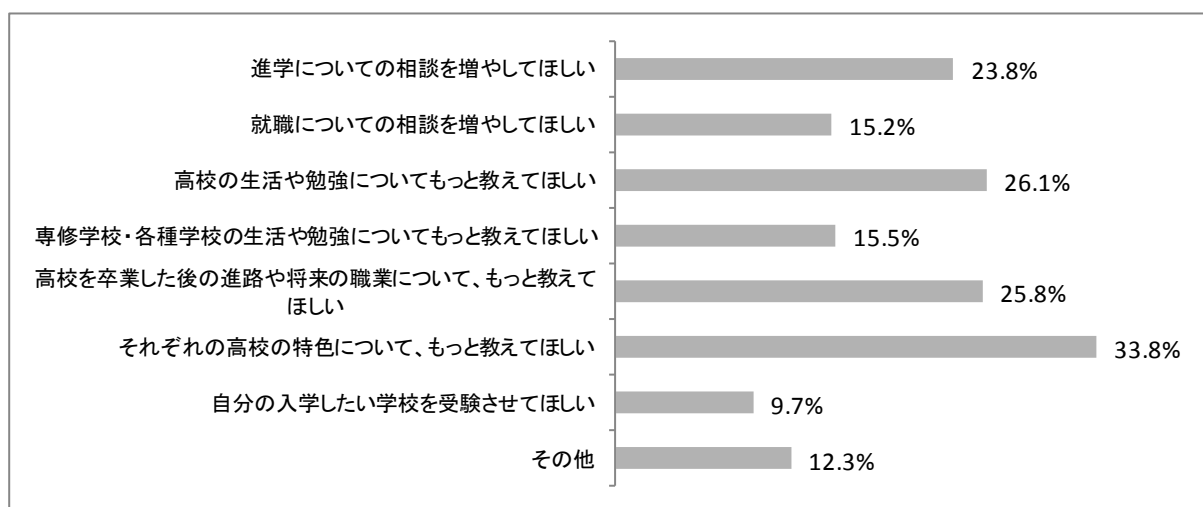


	退学した高校に在学(再入学)	別の全日制高校に在学	別の定時制高校に在学	別の通信制高校に在学	専修・各種学校に在学	大学・専門学校などに進学	高卒認定試験受験(受験準備含む)	就職(自営含む)	アルバイト・フリーター	無職(無業)	その他	計
高校に進学したかった	1	10	11	33	1	8	17	26	81	34	10	232
	0.4%	4.3%	4.7%	14.2%	0.4%	3.4%	7.3%	11.2%	34.9%	14.7%	4.3%	100%
中卒で働きたかった	0	0	0	2	1	1	1	10	11	3	3	32
	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	3.1%	3.1%	3.1%	31.3%	34.4%	9.4%	9.4%	100%
特に考えはなかった	0	0	1	7		2	1	15	23	16	4	69
	0.0%	0.0%	1.4%	10.1%	0.0%	2.9%	1.4%	21.7%	33.3%	23.2%	5.8%	100%
何もしたくなかった	0	0	0	0	0	0	0	1	8	3	0	12
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	66.7%	25.0%	0.0%	100%
計	1	10	12	42	2	11	19	52	123	56	17	345
	0.3%	2.9%	3.5%	12.2%	0.6%	3.2%	5.5%	15.1%	35.7%	16.2%	4.9%	100%

※設問(6)における多重回答エラー及び無回答を除く

※この設問は今回新たに追加した調査項目であるため、過去の調査データはない。

(11) 中学校の進路指導に、どのようなことを望みますか。【複数回答可】



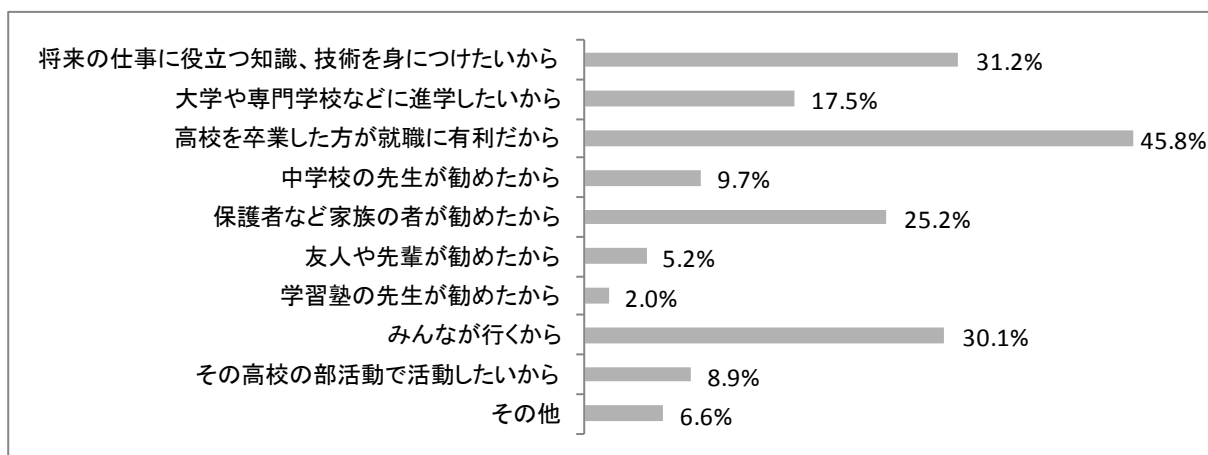
	進学についての相談を増やしてほしい	就職についての相談を増やしてほしい	高校の生活や勉強についてもっと教えてほしい	専修学校・各種学校の生活や勉強についてもっと教えてほしい	高校を卒業した後の進路や将来の職業について、もっと教えてほしい	それぞれの高校の特色について、もっと教えてほしい	自分の入学したい学校を受験させてほしい	その他
全体	83	53	91	54	90	118	34	43
	23.8%	15.2%	26.1%	15.5%	25.8%	33.8%	9.7%	12.3%
全日制	65	34	74	41	68	92	29	34
	24.1%	12.6%	27.4%	15.2%	25.2%	34.1%	10.7%	12.6%
定時制	17	17	15	9	21	25	4	8
	23.6%	23.6%	20.8%	12.5%	29.2%	34.7%	5.6%	11.1%
普通科	51	29	57	27	57	75	25	34
	22.8%	12.9%	25.4%	12.1%	25.4%	33.5%	11.2%	15.2%
専門 学科	26	18	28	22	24	29	7	8
	26.3%	18.2%	28.3%	22.2%	24.2%	29.3%	7.1%	8.1%
総合 学科	6	5	6	5	8	13	2	8
	25.0%	20.8%	25.0%	20.8%	33.3%	54.2%	8.3%	33.3%

- 「それぞれの高校の特色について、もっと教えてほしい」が33.8%で最も多い。
- 定時制では、「就職についての相談を増やしてほしい」、「高校を卒業した後の進路や将来の職業について、もっと教えてほしい、」の割合が比較的高い。
- 総合学科では、「それぞれの高校の特色について、もっと教えてほしい」が54.2%である。
- 「その他」としては、「特になし」という回答が多かった。

〈参考〉過去の調査データ

	進学についての相談を増やしてほしい	就職についての相談を増やしてほしい	将来の職業について、もっと教えてほしい	高校の生活や勉強についてもっと教えてほしい	専修学校・各種学校の生活や勉強についてもっと教えてほしい	就職先のことについて、もっと教えてほしい	高校を卒業した後の進路や将来の職業について、もっと教えてほしい	将来の生き方について、もっと教えてほしい	それぞれの高校の特色について、もっと教えてほしい	自分の入学したい学校を受験させてほしい	その他
H17	30	18	41	44	29	8	28	26	37	15	7
	28.6%	17.1%	39.0%	41.9%	27.6%	7.6%	26.7%	24.8%	35.2%	14.3%	6.7%
H12	32	33	50	49	37	20	36	53	46	31	22
	19.3%	19.9%	30.1%	29.5%	22.3%	12.0%	21.7%	31.9%	27.7%	18.7%	13.3%

(12) 高校に進学した理由はどのようなものでしたか。【複数回答可】



	将来の仕事に役立つ知識、技術を身につけたいから	大学や専門学校などに進学したいから	高校を卒業した方が就職に有利だから	中学校の先生が勧めたから	保護者など家族の者が勧めたから	友人や先輩が勧めたから	学習塾の先生が勧めたから	みんなが行くから	その高校の部活動で活動したいから	その他
全体	109	61	160	34	88	18	7	105	31	23
	31.2%	17.5%	45.8%	9.7%	25.2%	5.2%	2.0%	30.1%	8.9%	6.6%
全日制	84	43	121	23	69	13	7	94	27	17
	31.1%	15.9%	44.8%	8.5%	25.6%	4.8%	2.6%	34.8%	10.0%	6.3%
定時制	22	17	35	8	17	4	0	11	4	5
	30.6%	23.6%	48.6%	11.1%	23.6%	5.6%	0.0%	15.3%	5.6%	6.9%
普通科	43	49	109	20	54	13	6	78	23	17
	19.2%	21.9%	48.7%	8.9%	24.1%	5.8%	2.7%	34.8%	10.3%	7.6%
専門 学科	59	8	40	10	25	5	1	22	6	5
	59.6%	8.1%	40.4%	10.1%	25.3%	5.1%	1.0%	22.2%	6.1%	5.1%
総合 学科	6	4	10	3	7	0	0	5	2	5
	25.0%	16.7%	41.7%	12.5%	29.2%	0.0%	0.0%	20.8%	8.3%	20.8%

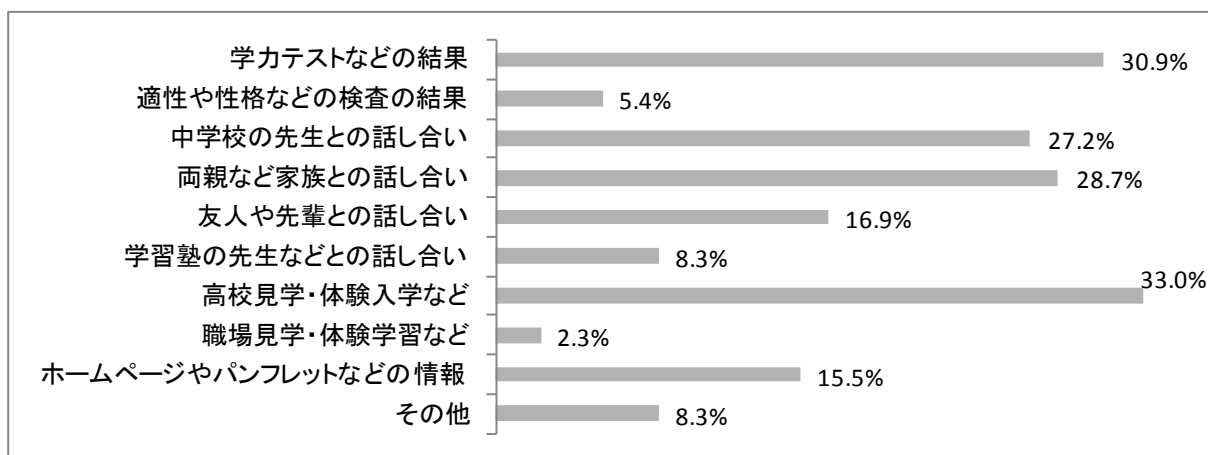
- 「高校を卒業した方が就職に有利だから」が 45.8%と最も高く、次いで「将来の仕事に役立つ知識、技術を身につけたいから」、「みんなが行くから」となっている。
- 「みんなが行くから」の回答は全日制では 34.8%、定時制では 15.3%と、倍以上の開きがある。
- 定時制では、「大学や専門学校などに進学したいから」、「高校を卒業した方が就職に有利だから」の割合が全日制より高くなっている。
- 学科別では、普通科の方が「みんなが行くから」の割合が比較的高い。また専門学科では「将来の仕事に役立つ知識、技術を身につけたいから」が 59.6%と高い。
- 「その他」には、「受検して受かったから」「制服を着たかったから」等があった。

〈参考〉過去の調査データ

	教養を高 めたいか ら	将来の仕 事に役立 つ知識、 技術を身 につけたい から	大学に進 学したい から	高校を卒 業した方 が就職に 有利だか ら	先生が勧 めたから	両親など 家族の者 が勧めた から	友人や先 輩が勧め たから	みんなが 行くから	その高校 の部活動 で活動し たいから	その後項 の特色あ る学科で 勉強した いから	特に理由 はない	その他
H17	5	20	9	40	10	19	9	33	14	8	11	-
	4.8%	19.0%	8.6%	38.1%	9.5%	18.1%	8.6%	31.4%	13.3%	7.6%	10.5%	-
H12	14	34	19	55	14	35	7	54	15	10	25	9
	8.4%	20.5%	11.4%	33.1%	8.4%	21.1%	4.2%	32.5%	9.0%	6.0%	15.1%	5.4%

※平成17年度調査では「その他」の項目はない。

(13) 入学する高校を決めるときに役立ったことは何ですか。【複数回答可】



	学力テストなどの結果	適性や性格などの検査の結果	中学校の先生との話し合い	両親など家族との話し合い	友人や先輩との話し合い	学習塾の先生などとの話し合い	高校見学・体験入学など	職場見学・体験学習など	ホームページやパンフレットなどの情報	その他
全体	108	19	95	100	59	29	115	8	54	29
	30.9%	5.4%	27.2%	28.7%	16.9%	8.3%	33.0%	2.3%	15.5%	8.3%
全日制	93	15	73	75	53	26	93	6	38	22
	34.4%	5.6%	27.0%	27.8%	19.6%	9.6%	34.4%	2.2%	14.1%	8.1%
定時制	13	4	19	24	6	3	19	2	16	6
	18.1%	5.6%	26.4%	33.3%	8.3%	4.2%	26.4%	2.8%	22.2%	8.3%
普通科	85	11	58	66	38	21	74	4	42	18
	37.9%	4.9%	25.9%	29.5%	17.0%	9.4%	33.0%	1.8%	18.8%	8.0%
専門 学科	15	6	28	26	16	7	31	3	8	11
	15.2%	6.1%	28.3%	26.3%	16.2%	7.1%	31.3%	3.0%	8.1%	11.1%
総合 学科	7	2	8	8	5	1	8	1	4	0
	29.2%	8.3%	33.3%	33.3%	20.8%	4.2%	33.3%	4.2%	16.7%	0.0%

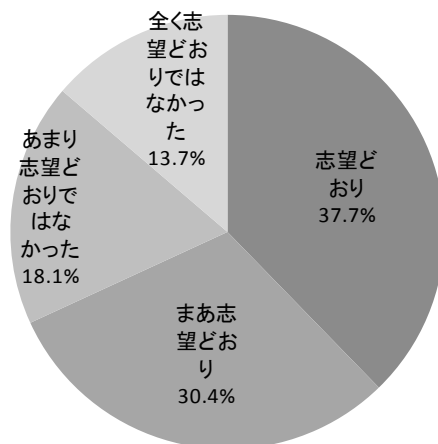
- 全体では、「高校見学・体験入学など」が33.0%、「学力テストなどの結果」が30.9%、「両親など家族との話し合い」が28.7%、「中学校の先生との話し合い」が27.2%の順となっている。
- 全日制では、「学力テストなどの結果」と「高校見学・体験入学など」が34.4%と同率である。
- 定時制では「両親など家族との話し合い」が33.3%と最も高く、「学力テストなどの結果」が18.1%と低い。また、「高校見学・体験入学など」や「友人や先輩との話し合い」も比較的低い一方、「ホームページやパンフレットなどの情報」の割合が高くなっている。
- 普通科では「学力テストの結果」37.9%、「高校見学・体験入学など」33.0%の順であるが、専門学科では「高校見学・体験入学」31.3%、「中学校の先生との話し合い」28.3%の順となっており、「学力テストの結果」は15.2%と普通科の半分以下となっている。
- 総合学科では「中学校の先生との話し合い」、「両親など家族との話し合い」、「高校見学・体験入学」とも33.3%である。
- 「その他」は「特になし」、「近いから」等であった。
- 過去の調査との比較では、「学力テストなどの結果」の率が減少している一方、「高校見学・体験入学など」、「両親など家族との話し合い」、「中学校の先生との話し合い」の率が上昇している。

〈参考〉過去の調査データ

	学力検査の結果	性格や行動の検査の結果	適性や興味の検査の結果	身体や体力の検査の結果	中学校の先生との話し合い	両親など家族との話し合い	友人や先輩との話し合い	高校の先生などの話	社会人の方などの話	塾の先生などの話	高校見学・体験入学	職場見学・体験学習	その他
H17	37	6	3	2	23	24	16	4	2	5	28	2	13
	35.2%	5.7%	2.9%	1.9%	21.9%	22.9%	15.2%	3.8%	1.9%	4.8%	26.7%	1.9%	12.4%
H12	73	3	3	6	32	36	39	4	2	-	27	0	26
	44.0%	1.8%	1.8%	3.6%	19.3%	21.7%	23.5%	2.4%	1.2%	0.0%	16.3%	0.0%	15.7%

■ 高校入学後

(14) 入学した高校は、志望した高校でしたか。



	志望どおり	まあ志望どおり	あまり志望どおりではなかった	全く志望どおりではなかった	計
全体	129	104	62	47	342
	37.7%	30.4%	18.1%	13.7%	100%

※多重回答エラー:2 及び無回答 5 を除く

全日制	103	77	51	34	265
	38.9%	29.1%	19.2%	12.8%	100%
定時制	26	24	10	10	70
	37.1%	34.3%	14.3%	14.3%	100%

※全定別の数字は(4)の無回答 7 を除く

普通科	94	59	35	33	221
	42.5%	26.7%	15.8%	14.9%	100%
専門学科	27	38	21	11	97
	27.8%	39.2%	21.6%	11.3%	100%
総合学科	7	6	6	3	22
	31.8%	27.3%	27.3%	13.6%	100%

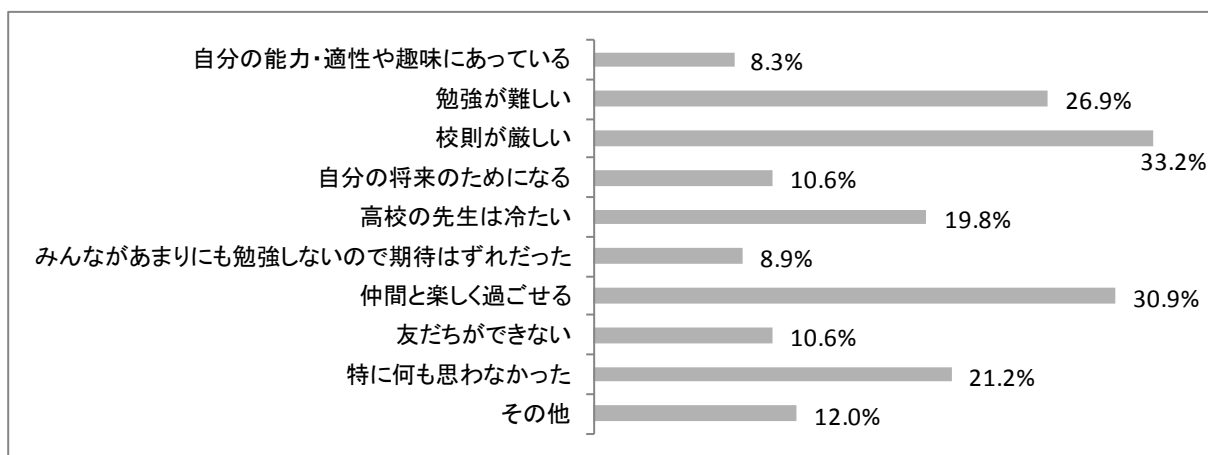
※学科別の数字は(5)の無回答 2 を除く

- 「あまり志望どおりではなかった」「全く志望どおりではなかった」を合わせ、志望どおりでない学校に入学した者の割合は3割以上である。

〈参考〉過去の調査データ

	志望どおり	まあ志望どおり	あまり志望どおりではなかった	全く志望どおりではなかった	計
H17	45	31	18	11	105
	42.9%	29.5%	17.1%	10.5%	100%
H12	65	54	28	19	166
	39.2%	32.5%	16.9%	11.4%	100%

(15) 高校に入学してみて、どう思いましたか。【複数回答可】



	自分の能力・適性や趣味にあっている	勉強が難しい	校則が厳しい	自分の将来のためになる	高校の先生は冷たい	みんながあまりにも勉強しないので期待はずれだった	仲間と楽しく過ごせる	友だちができない	特に何も思わなかった	その他
全体	29	94	116	37	69	31	108	37	74	42
	8.3%	26.9%	33.2%	10.6%	19.8%	8.9%	30.9%	10.6%	21.2%	12.0%
全日制	21	73	104	26	54	23	80	30	56	32
	7.8%	27.0%	38.5%	9.6%	20.0%	8.5%	29.6%	11.1%	20.7%	11.9%
定時制	8	19	10	10	11	8	26	7	17	9
	11.1%	26.4%	13.9%	13.9%	15.3%	11.1%	36.1%	9.7%	23.6%	12.5%
普通科	20	53	78	19	46	20	81	21	44	28
	8.9%	23.7%	34.8%	8.5%	20.5%	8.9%	36.2%	9.4%	19.6%	12.5%
専門 学科	5	35	30	17	17	7	22	14	20	11
	5.1%	35.4%	30.3%	17.2%	17.2%	7.1%	22.2%	14.1%	20.2%	11.1%
総合 学科	4	6	8	1	5	4	4	2	9	3
	16.7%	25.0%	33.3%	4.2%	20.8%	16.7%	16.7%	8.3%	37.5%	12.5%

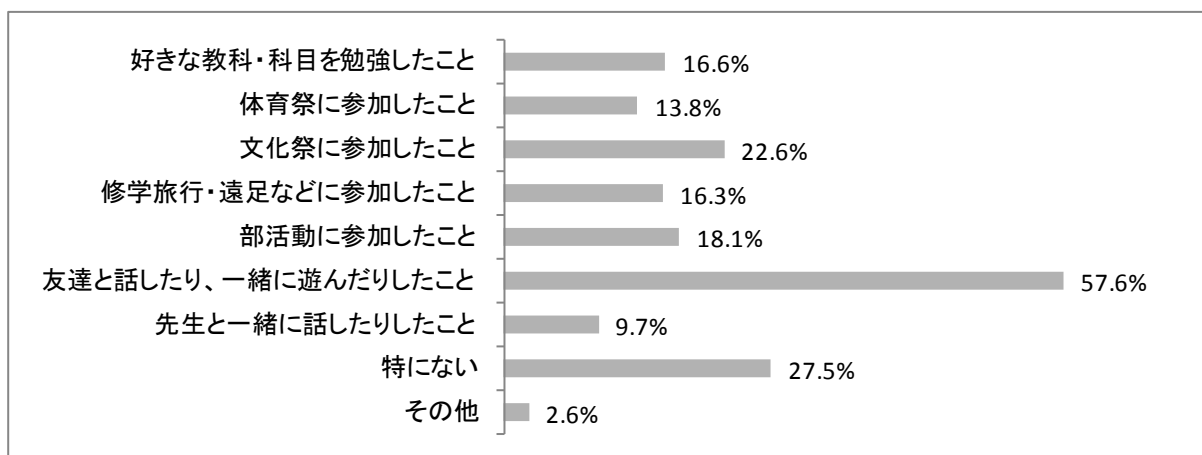
- 「校則が厳しい」33.2%、「仲間と楽しく過ごせる」30.9%、「勉強が難しい」26.9%の順である。
- 全日制では「校則が厳しい」が38.5%、定時制では「仲間と楽しく過ごせる」が36.1%と高くなっている。
- 普通科では「仲間と楽しく過ごせる」が、専門学科では「勉強が難しい」が比較的高い。

- その他には「つまらない」、「人間関係があわない」等があった。
- 過去の調査との比較では、「仲間と楽しく過ごせる」の率が減少している。

〈参考〉過去の調査データ

	自分の 趣味や 好みにあ っている	勉強が 難しい	自分の 能力や 適性が 活かせ る	校則が 厳しい	自分の 将来の ため になる	高校の 先生は 冷たい	その高 校に入 学でき て誇り に思っ た	みんな があまり にも 勉強し ないの で期待 はずれ だった	仲間と 楽しく 過ごせ る	部活動 が厳し くてつ らい	親や先 生の期 待に沿 っている。	みんな が受験 ばかり している	特に何 も思わ なかった	その他
H17	8	30	5	39	11	23	10	9	51	2	1	0	10	21
	7.6%	28.6%	4.8%	37.1%	10.5%	21.9%	9.5%	8.6%	48.6%	1.9%	1.0%	0.0%	9.5%	20.0%
H12	17	47	5	50	14	24	15	13	57	5	5	8	31	25
	10.2%	28.3%	3.0%	30.1%	8.4%	14.5%	9.0%	7.8%	34.3%	3.0%	3.0%	4.8%	18.7%	15.1%

(16) 高校生活の中で楽しかったことは何ですか。【複数回答可】



	好きな教科・科目を勉強したこと	体育祭に参加したこと	文化祭に参加したこと	修学旅行・遠足などに参加したこと	部活動に参加したこと	友達と話したり、一緒に遊んだりしたこと	先生と一緒に話したりしたこと	特にない	その他
全体	58	48	79	57	63	201	34	96	9
	16.6%	13.8%	22.6%	16.3%	18.1%	57.6%	9.7%	27.5%	2.6%

全日制	38	41	67	46	48	152	25	74	9
	14.1%	15.2%	24.8%	17.0%	17.8%	56.3%	9.3%	27.4%	3.3%
定時制	18	6	11	9	13	44	9	21	0
	25.0%	8.3%	15.3%	12.5%	18.1%	61.1%	12.5%	29.2%	0.0%

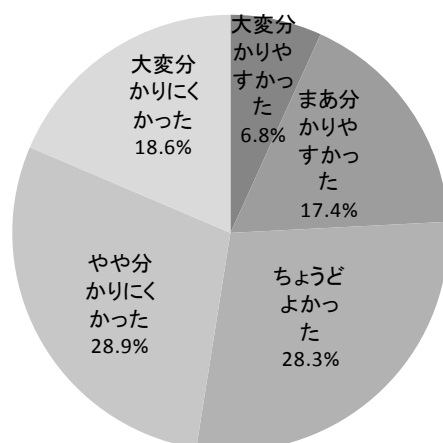
普通科	38	35	63	47	44	138	28	58	8
	17.0%	15.6%	28.1%	21.0%	19.6%	61.6%	12.5%	25.9%	3.6%
専門 学科	15	9	13	8	16	52	5	30	1
	15.2%	9.1%	13.1%	8.1%	16.2%	52.5%	5.1%	30.3%	1.0%
総合 学科	5	4	3	2	3	10	1	7	0
	20.8%	16.7%	12.5%	8.3%	12.5%	41.7%	4.2%	29.2%	0.0%

- 「友達と話したり、一緒に遊んだりしたこと」が57.6%と高いものの、過去の調査との比較では低下している。
- 「特にない」が27.5%となっている。

〈参考〉過去の調査データ

	好きな教科・科目を勉強したこと	ホームルーム合宿等に参加したこと	体育祭に参加したこと	文化祭に参加したこと	修学旅行・スキー合宿等に参加したこと	部活動に参加したこと	友達と話したり、一緒に遊んだりしたこと	先生と一緒に話したりしたこと	特にない	その他
H17	22	9	30	46	19	27	77	26	10	7
	21.0%	8.6%	28.6%	43.8%	18.1%	25.7%	73.3%	24.8%	9.5%	6.7%
H12	29	14	21	35	30	38	104	25	36	7
	17.5%	8.4%	12.7%	21.1%	18.1%	22.9%	62.7%	15.1%	21.7%	4.2%

(17) 高校の授業の内容についてどう思いましたか。



	大変分 かりや すかつ た	まあ分 かりや すかつ た	ちようど よ かつ た	やや分 かりに くかつ た	大変分 かりに くかつ た	計
全体	23	59	96	98	63	339
	6.8%	17.4%	28.3%	28.9%	18.6%	100%

※多重回答エラー:1 及び無回答 9 を除く

全日制	14	45	70	83	50	262
	5.3%	17.2%	26.7%	31.7%	19.1%	100%
定時制	9	14	23	13	11	70
	12.9%	20.0%	32.9%	18.6%	15.7%	100%

※全定別の数字は(4)の無回答 7 を除く

普通科	14	43	65	57	38	217
	6.5%	19.8%	30.0%	26.3%	17.5%	100%
専門学科	7	13	23	35	19	97
	7.2%	13.4%	23.7%	36.1%	19.6%	100%
総合学科	2	3	7	5	6	23
	8.7%	13.0%	30.4%	21.7%	26.1%	100%

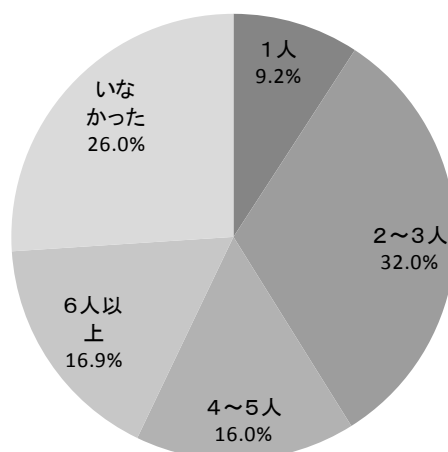
※学科別の数字は(5)の無回答 2 を除く

- 「やや分かりにくかった」、「大変分かりにくかった」を合わせて47.5%となる。
- 定時制では、「やや分かりにくかった」、「大変分かりにくかった」が約1/3と比較的低くなっている。
- 普通科と専門学科の比較では、「やや分かりにくかった」、「大変分かりにくかった」を合わせて、11.9ポイント専門学科の方が高くなっている。

〈参考〉過去の調査データ

	大変分かりやすかった	まあ分かりやすかった	ちょうどよかった	やや分かりにくかった	大変分かりにくかった	不明	計
H17	8	20	18	41	16	2	105
	7.6%	19.0%	17.1%	39.0%	15.2%	1.9%	100%
H12	20	25	34	52	34	1	166
	12.0%	15.1%	20.5%	31.3%	20.5%	0.6%	100%

(18) 在学していた高校には、心を打ち明けて話せる友人が何人ぐらいいましたか。



	1人	2～3人	4～5人	6人以上	いなかった	計
全体	31	108	54	57	88	338
	9.2%	32.0%	16.0%	16.9%	26.0%	100%

※多重回答エラー:3 及び無回答 8 を除く

全日制	22	81	39	52	69	263
	8.4%	30.8%	14.8%	19.8%	26.2%	100%
定時制	7	24	14	5	18	68
	10.3%	35.3%	20.6%	7.4%	26.5%	100%

※全定別の数字は(4)の無回答 7 を除く

普通科	23	62	43	38	52	218
	10.6%	28.4%	19.7%	17.4%	23.9%	100%
専門学科	6	34	10	17	28	95
	6.3%	35.8%	10.5%	17.9%	29.5%	100%
総合学科	1	12	1	1	8	23
	4.3%	52.2%	4.3%	4.3%	34.8%	100%

※学科別の数字は(5)の無回答 2 を除く

- 「いなかった」と回答した者が1/4以上である。
- 普通科よりも専門学科、総合学科の方が「いなかった」の割合が高い。
- 「(16)高校生活の中で楽しかったことは何ですか。」とのクロス集計では、「特にない」の回答のうち6割近くが「いなかった」と回答している。

「(16)高校生活の中で楽しかったことは何ですか。」のうち、「特にない」とのクロス集計

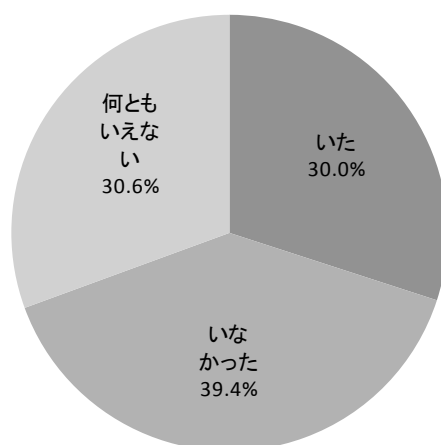
	1人	2～3人	4～5人	6人以上	いなかった	計
特にない	10	15	5	8	52	90
	11.1%	16.7%	5.6%	8.9%	57.8%	100%

※設問(16)の「特にない」の回答のうち、設問(18)における無回答及び重複回答を除く。

〈参考〉過去の調査データ

	1人	2～3人	4～5人	6人以上	いなかった	不明	計
H17	13	39	20	17	15	1	105
	12.4%	37.1%	19.0%	16.2%	14.3%	1.0%	100%
H12	22	63	21	15	42	3	166
	13.3%	38.0%	12.7%	9.0%	25.3%	1.8%	100%

(19) 高校には、気軽に相談できる先生がいましたか。



	いた	いかなかった	何ともいえない	計
全体	102	134	104	340
	30.0%	39.4%	30.6%	100%

※多重回答エラー:1 及び無回答 8 を除く

全日制	81	108	76	265
	30.6%	40.8%	28.7%	100%
定時制	20	22	26	68
	29.4%	32.4%	38.2%	100%

※全定別の数字は(4)の無回答 7 を除く

普通科	69	85	65	219
	31.5%	38.8%	29.7%	100%
専門学科	25	37	34	96
	26.0%	38.5%	35.4%	100%
総合学科	7	11	5	23
	30.4%	47.8%	21.7%	100%

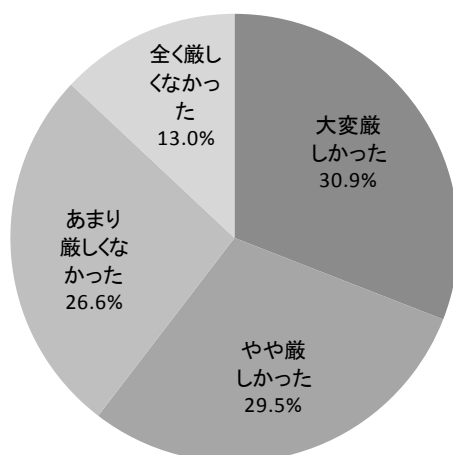
※学科別の数字は(5)の無回答 2 を除く

- 「いた」が3割、「いなかった」が約4割である。
- 定時制では「いなかった」の割合が比較的低くなっている。

〈参考〉過去の調査データ

	いた	いなかった	何ともいえない	不明	計
H17	51	29	24	1	105
	48.6%	27.6%	22.9%	1.0%	100%
H12	52	64	49	1	166
	31.3%	38.6%	29.5%	0.6%	100%

(20) 高校の校則やきまりはどうでしたか。



	大変厳しかった	やや厳しかった	あまり厳しくなかった	全く厳しくなかった	計
全体	107	102	92	45	346
	30.9%	29.5%	26.6%	13.0%	100%

※無回答 3 を除く

全日制	99	90	56	24	269
	36.8%	33.5%	20.8%	8.9%	100%
定時制	6	10	34	20	70
	8.6%	14.3%	48.6%	28.6%	100%

※全定別の数字は(4)の無回答 7 を除く

普通科	70	63	55	34	222
	31.5%	28.4%	24.8%	15.3%	100%
専門学科	29	30	31	9	99
	29.3%	30.3%	31.3%	9.1%	100%
総合学科	8	7	6	2	23
	34.8%	30.4%	26.1%	8.7%	100%

※学科別の数字は(5)の無回答 2 を除く

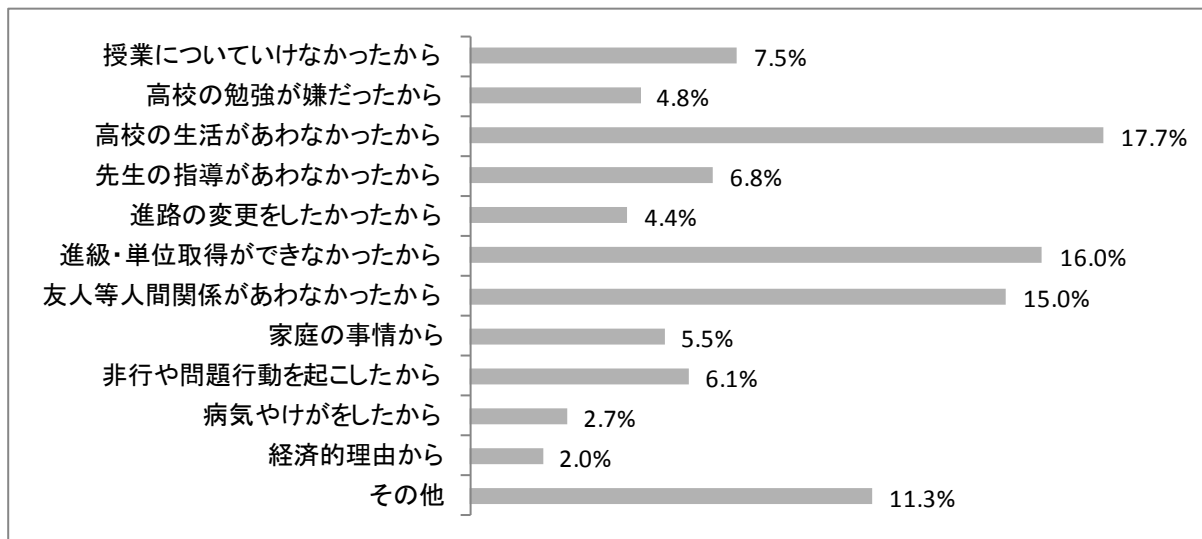
- 「大変厳しかった」「やや厳しかった」を合わせて約 6 割である。
- 全日制では「大変厳しかった」「やや厳しかった」を合わせて 70.3%になるのに対し、定時制では 22.9%となっている。

〈参考〉過去の調査データ

	大変厳しかった	やや厳しかった	あまり厳しくなかった	全く厳しくなかった	不明	計
H17	28	35	29	12	1	105
	26.7%	33.3%	27.6%	11.4%	1.0%	100%
H12	36	45	54	31	0	166
	21.7%	27.1%	32.5%	18.7%	0.0%	100%

■ 高校をやめるにあたって

(21) 高校をやめた理由に一番近いものを、次の中から一つだけあげてください。



	授業についていけなかったから	高校の勉強が嫌だったから	高校の生活があわなかったから	先生の指導があわなかったから	進路の変更をしたかったから	進級・単位取得ができなかったから	友人等人間関係があわなかったから	家庭の事情から	非行や問題行動を起こしたから	病気やけがをしたから	経済的理由から	その他	計
全体	22	14	52	20	13	47	44	16	18	8	6	33	293
	7.5%	4.8%	17.7%	6.8%	4.4%	16.0%	15.0%	5.5%	6.1%	2.7%	2.0%	11.3%	100%

※多重回答エラー:54 及び無回答 2 を除く

全日制	17	10	45	18	9	35	33	10	17	7	3	24	228
	7.5%	4.4%	19.7%	7.9%	3.9%	15.4%	14.5%	4.4%	7.5%	3.1%	1.3%	10.5%	100%
定時制	5	3	7	2	4	12	11	5	0	1	3	7	60
	8.3%	5.0%	11.7%	3.3%	6.7%	20.0%	18.3%	8.3%	0.0%	1.7%	5.0%	11.7%	100%

※全定別の数字は(4)の無回答 5 を除く

普通科	11	8	34	16	9	23	31	14	12	6	4	22	190
	5.8%	4.2%	17.9%	8.4%	4.7%	12.1%	16.3%	7.4%	6.3%	3.2%	2.1%	11.6%	100%
専門 学科	9	5	14	2	4	19	10	2	5	1	2	9	82
	11.0%	6.1%	17.1%	2.4%	4.9%	23.2%	12.2%	2.4%	6.1%	1.2%	2.4%	11.0%	100%
総合 学科	2	1	4	2	0	5	3	0	1	1	0	1	20
	10.0%	5.0%	20.0%	10.0%	0.0%	25.0%	15.0%	0.0%	5.0%	5.0%	0.0%	5.0%	100%

※学科別の数字は(5)の無回答 1 を除く

- 「高校の生活があわなかったから」が 17.7%、「進級・単位取得ができなかったから」が 16.0%、「友人等人間関係があわなかったから」が 15.0%である。
- 「高校の生活があわなかったから」については全日制で 19.7%、定時制で 11.7%と開きがある。また、「進級・単位取得ができなかったから」、「友人等人間関係があわなかったから」は定時制の方が高い割合となっている。
- 専門学科では「進級、単位取得ができなかったから」、「高校の生活が合わなかったから」の順となっている。
- 「その他」に「妊娠」「なんとなく」等があった。
- 設問(3)「高校をやめた月を教えてください。」とのクロス集計では、「高校の生活があわなかったから」と回答した者は、9月までの早い段階で約6割が退学している。「進級・単位取得ができなかったから」と回答した者の半数以上が3月に集中している。また、「友人等人間関係があわなかったから」と回答した者は、11月をピークに8月から11月の期間に約半数が退学している。

設問(3)「高校をやめた月を教えてください。」とのクロス集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高校の生活があわなかったから	3 5.8%	5 9.6%	6 11.5%	2 3.8%	2 3.8%	13 25.0%	5 9.6%	2 3.8%	2 3.8%	2 3.8%	2 3.8%	8 15.4%
進級・単位取得ができなかったから	1 2.1%	1 2.1%	1 2.1%	1 2.1%	1 2.1%	2 4.3%	4 8.5%	3 6.4%	3 6.4%	1 2.1%	5 10.6%	24 51.1%
友人等人間関係があわなかったから	2 4.8%	3 7.1%	2 4.8%	2 4.8%	4 9.5%	4 9.5%	5 11.9%	7 16.7%	2 4.8%	3 7.1%	1 2.4%	7 16.7%

〈参考〉過去の調査データ

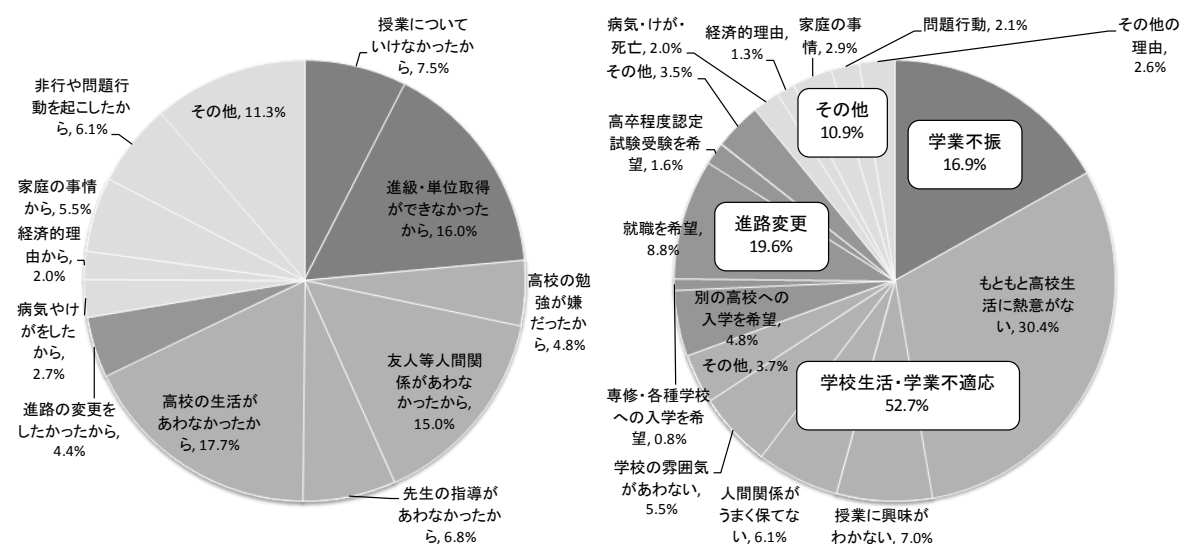
	授業についていけなかったから	高校の勉強が嫌だったから	高校の生活があわなかったから	先生の指導があわなかったから	進路の変更をしたかったから	進級・単位取得ができなかったから	友人等人間関係があわなかったから	家庭の事情から	非行や問題行動を起こしたから	病気やけがをしたから	経済的理由から	その他	計
H17	11	6	20	7	10	-	14	3	5	6	1	22	105
	10.5%	5.7%	19.0%	6.7%	9.5%	-	13.3%	2.9%	4.8%	5.7%	1.0%	21.0%	100%
H12	16	13	56	-	28	-	-	5	7	3	0	38	166
	9.6%	7.8%	33.7%	-	16.9%	-	-	3.0%	4.2%	1.8%	0.0%	22.9%	100%

文部科学省調査の中途退学理由区分との比較

文部科学省調査の理由区分と単純には比較できないが、今回の追跡調査における「友人等人間関係があわなかったから」15.0%は、文部科学省調査の「人間関係がうまく保てない」6.1%の2.5倍となっており、学校側の見立て以上に、人間関係がもとで学校をやめたいと思う生徒が多いということが考えられる。

また、追跡調査における「進路の変更をしたかったから」は4.4%で、文部科学省調査の「進路変更」の合計19.6%の約1/5である。純粋に進路変更を考える生徒の他に、高校をやめるという前提のもと、就職や他の学校への進路変更を希望する者の存在が、このような調査結果の違いに現れているものと考えられる。

今回の調査と文部科学省調査の比較(グラフ 左：今回調査 右：文部科学省調査)



※今回の調査結果のグラフについては、文部科学省調査の4つの理由区分に類似している項目を当てはめて色分けしている。

(22) 高校をやめることについて誰かに相談しましたか。

	した	しなかった	計
全体	258	89	347
	74.4%	25.6%	100%

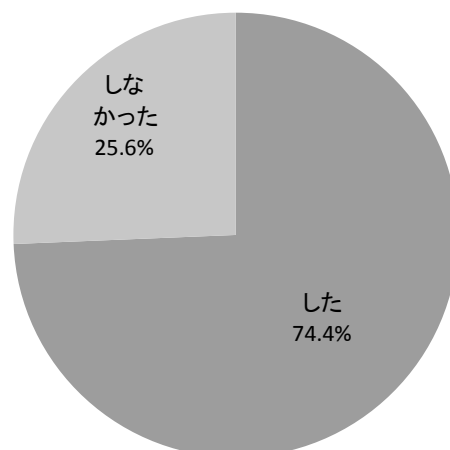
※無回答 2 を除く

全日制	205	64	269
	76.2%	23.8%	100%
定時制	49	22	71
	69.0%	31.0%	100%

※全定別の数字は(4)の無回答 7 を除く

普通科	167	57	224
	74.6%	25.4%	100%
専門学科	76	22	98
	77.6%	22.4%	100%
総合学科	14	9	23
	60.9%	39.1%	100%

※学科別の数字は(5)の無回答 2 を除く



- 全体で 1/4 が誰にも相談せずに中途退学しており、定時制では約 3 割となっている。
- 過去の調査との比較では、「しなかった」の割合が高くなっている。

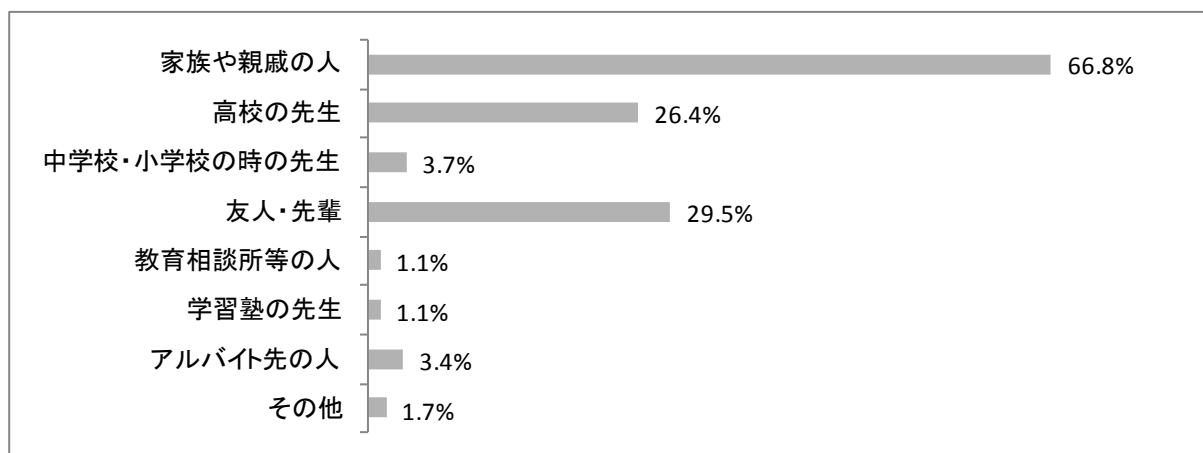
〈参考〉過去の調査データ

	した	しなかった	計
H17	93	12	105
	88.6%	11.4%	100%
H12	145	21	166
	87.3%	12.7%	100%

※過去2回の調査では、「高校をやめようと考えたとき、誰と相談しましたか。(複数回答可)」という設問の中に、「誰とも相談しなかった」という項目があるため、母数からその数字を引いた数をここでは「しなかった」としている。

(23) 前の質問で「した」と回答した人に伺います。誰と相談しましたか。

【複数回答可】



	家族や親戚の人	高校の先生	中学校・小学校の時の先生	友人・先輩	教育相談所等の人	学習塾の先生	アルバイト先の人	その他
全体	233	92	13	103	4	4	12	6
	66.8%	26.4%	3.7%	29.5%	1.1%	1.1%	3.4%	1.7%
全日制	187	74	10	78	4	3	11	5
	69.3%	27.4%	3.7%	28.9%	1.5%	1.1%	4.1%	1.9%
定時制	44	16	3	21	0	1	0	1
	61.1%	22.2%	4.2%	29.2%	0.0%	1.4%	0.0%	1.4%
普通科	153	65	9	69	2	4	9	3
	68.3%	29.0%	4.0%	30.8%	0.9%	1.8%	4.0%	1.3%
専門 学科	68	22	2	24	2	0	3	2
	68.7%	22.2%	2.0%	24.2%	2.0%	0.0%	3.0%	2.0%
総合 学科	11	4	2	9	0	0	0	1
	45.8%	16.7%	8.3%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%

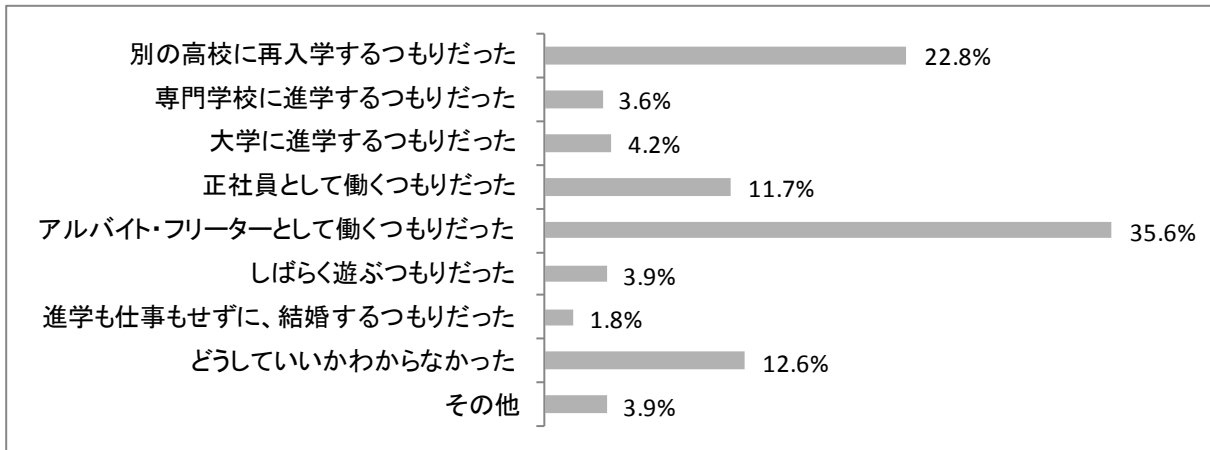
※(22)「高校をやめることについて誰かに相談しましたか」のうち、「した」という回答の内数である。

- 「家族や親戚の人」66.8%、「友人・先輩」29.5%、「高校の先生」26.4%の順である。
- 「その他」は「恋人」等であった。
- 過去の調査と比較して、「高校の先生」の率が低下している。

〈参考〉過去の調査データ

	両親など家族の人	高校の先生	中学校の時の先生	小学校の時の先生	友人・先輩	親戚の人	教育相談所等の人	学習塾の先生	アルバイト先の人	その他
H17	69	33	4	0	32	1	0	1	4	3
	65.7%	31.4%	3.8%	0.0%	30.5%	1.0%	0.0%	1.0%	3.8%	2.9%
H12	119	67	6	0	69	4	2	4	9	20
	71.7%	40.4%	3.6%	0.0%	41.6%	2.4%	1.2%	2.4%	5.4%	12.0%

(24) 高校をやめた時点では、その後のことについてどのように考えていましたか。



	別の高校に再入学するつもりだった	専門学校に進学するつもりだった	大学に進学するつもりだった	正社員として働くつもりだった	アルバイト・フリーターとして働くつもりだった	しばらく遊ぶつもりだった	進学も仕事もせずに、結婚するつもりだった	どうしていいかわからなかった	その他	計
全体	76	12	14	39	119	13	6	42	13	334
	22.8%	3.6%	4.2%	11.7%	35.6%	3.9%	1.8%	12.6%	3.9%	100%

※多重回答エラー:14 及び無回答 1 を除く

全日制	68	5	12	31	91	12	6	30	6	261
	26.1%	1.9%	4.6%	11.9%	34.9%	4.6%	2.3%	11.5%	2.3%	100%
定時制	8	7	2	6	27	1	0	10	6	67
	11.9%	10.4%	3.0%	9.0%	40.3%	1.5%	0.0%	14.9%	9.0%	100%

※全定別の数字は(4)の無回答 6 を除く

普通科	44	8	12	24	77	11	6	24	10	216
	20.4%	3.7%	5.6%	11.1%	35.6%	5.1%	2.8%	11.1%	4.6%	100%
専門学科	26	2	2	12	32	2	0	16	2	94
	27.7%	2.1%	2.1%	12.8%	34.0%	2.1%	0.0%	17.0%	2.1%	100%
総合学科	6	2	0	2	9	0	0	2	1	22
	27.3%	9.1%	0.0%	9.1%	40.9%	0.0%	0.0%	9.1%	4.5%	100%

※学科別の数字は(5)の無回答 2 を除く

- 「アルバイト・フリーターとして働くつもりだった」が 35.6%、「別の高校に再入学するつもりだった」が 22.8%、「どうしていいかわからなかった」が 12.6%、「正社員として働くつもりだった」が 11.7%となっている。
- 「別の高校に再入学するつもりだった」については全日制で 26.1%、定時制では 11.9%と倍以上の開きがある。
- 定時制では、「アルバイト・フリーターとして働くつもりだった」が 4 割にな

る。

- 「その他」では「家業」「主婦」等があった。
- 「(6)現在の状況について教えてください。」とのクロス集計では、「別の高校に再入学するつもりだった」者76名のうち、実際に高校に入学した者は39名(別の全日制高校に在学7名、別の定時制高校に在学9名、別の通信制高校に在学23名)、割合は51.3%となっている。
- 同じく「正社員として働くつもりだった」と回答した39名のうち、就職した者は29名、割合は74.4%である。
- 「どうしていいかわからなかった」と回答した42名のうち、13名が「アルバイト・フリーター」、14名が「無職(無業)」となっており、合わせると割合は64.3%である。

「(6)現在の状況について教えてください。」とのクロス集計

	別の高校に再入学するつもりだった	専門学校に進学するつもりだった	大学に進学するつもりだった	正社員として働くつもりだった	アルバイト・フリーターとして働くつもりだった	しばらく遊ぶつもりだった	進学も仕事もせずに、結婚するつもりだった	どうしていいかわからなかった	その他	計
退学した高校に在学(再入学)					1					1
別の全日制高校に在学	7				1			3		11
別の定時制高校に在学	9							2	1	12
別の通信制高校に在学	23	2		2	9	1		3		40
専修・各種学校に在学	1	1								2
大学・専門学校などに進学	2	1	3		1	2		1	1	11
高卒認定試験受験(受験準備含む)	5	2	7					4	1	19
就職(自営含む)	4	2		29	10			2	3	50
アルバイト・フリーター	11	1	2	6	74	8	2	13		117
無職(無業)	10	2	1		21	1	2	14	2	53
その他	4	1	1	2	2		2		4	16
計	76	12	14	39	119	12	6	42	12	332

※設問(6)における多重回答エラー及び無回答を除く

※この設問は今回新たに追加した調査項目であるため、過去の調査データはない。

(25) 高校をやめる前は、高校卒業の資格は必要だと考えましたか。

	はい	いいえ	計
全体	267	81	348
	76.7%	23.3%	100%

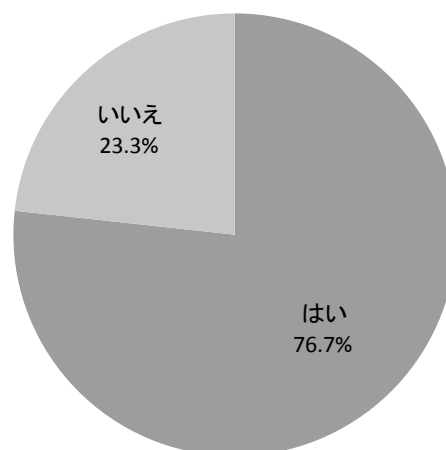
※無回答 1 を除く

全日制	197	73	270
	73.0%	27.0%	100%
定時制	66	5	71
	93.0%	7.0%	100%

※全定別の数字は(4)の無回答 7 を除く

普通科	172	52	224
	76.8%	23.2%	100%
専門学科	76	23	99
	76.8%	23.2%	100%
総合学科	18	5	23
	78.3%	21.7%	100%

※学科別の数字は(5)の無回答 2 を除く



- 「いいえ」の割合は23.3%である。
- 定時制では「はい」の割合が非常に高い結果となっている。

※この設問は今回新たに追加した調査項目であるため、過去の調査データはない。

■ 高校をやめてから

(26) 高校をやめた後は、高校卒業の資格は必要だと考えましたか。

	はい	いいえ	計
全体	254	93	347
	73.2%	26.8%	100%

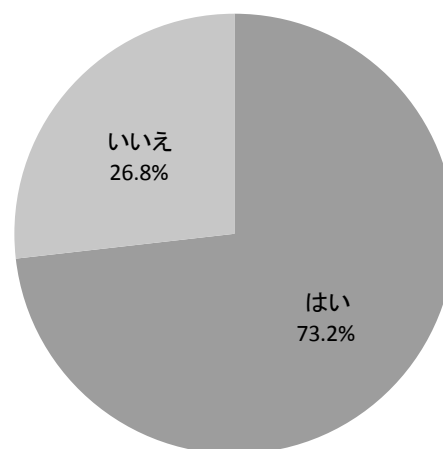
※無回答 2 を除く

全日制	193	77	270
	71.5%	28.5%	100%
定時制	55	15	70
	78.6%	21.4%	100%

※全定別の数字は(4)の無回答 7 を除く

普通科	167	57	224
	74.6%	25.4%	100%
専門学科	70	29	99
	70.7%	29.3%	100%
総合学科	15	7	22
	68.2%	31.8%	100%

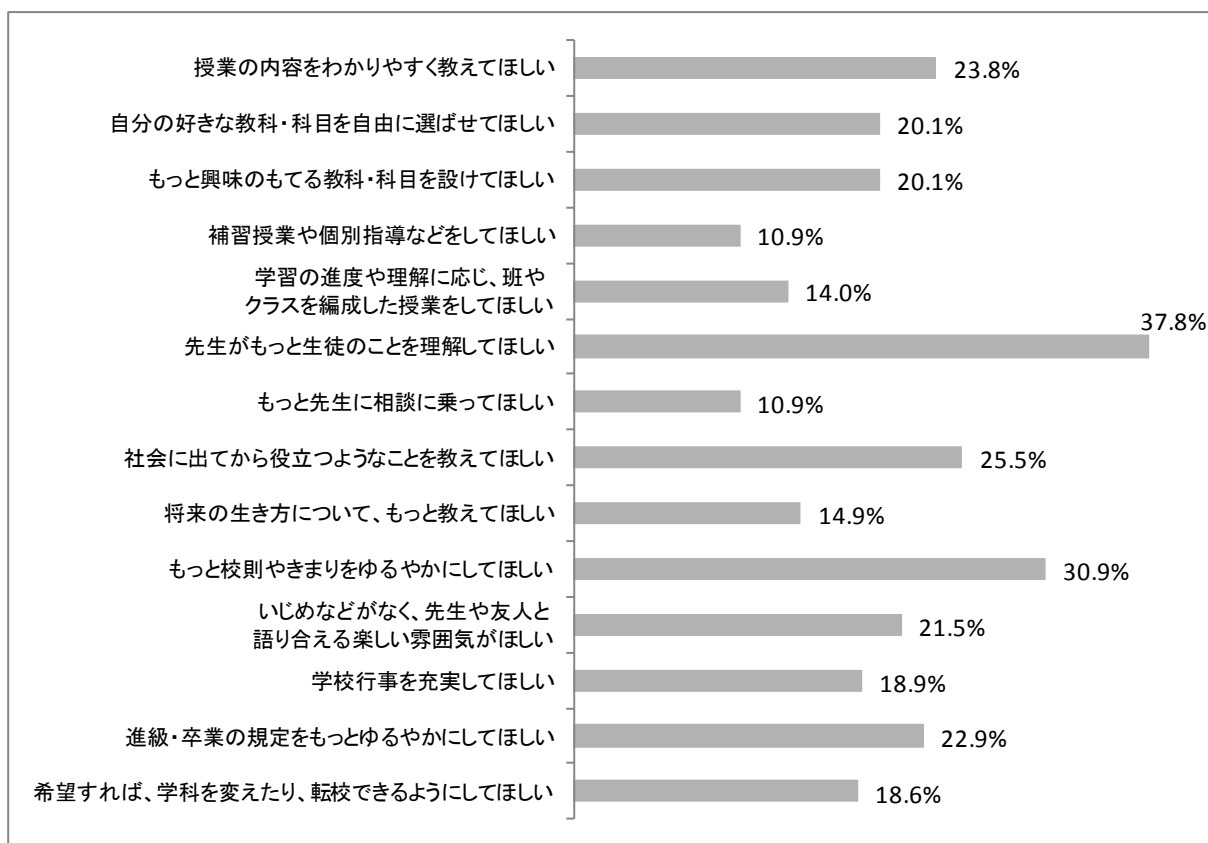
※学科別の数字は(5)の無回答 2 を除く



- 「いいえ」の割合は26.8%である。
- 前問と比較し、全日制よりも定時制で意識の変化が大きい。
- 前問と比較し、普通科よりも専門学科、総合学科で意識の変化が大きい。

※この設問は今回新たに追加した調査項目であるため、過去の調査データはない。

(27) 高校での生活を振り返って、高校にどのようなことを望みますか。【複数回答可】



	授業の内容をわかりやすく教えてほしい	自分の好きな教科・科目を自由に選ばせてほしい	もっと興味のもてる教科・科目を設けてほしい	補習授業や個別指導などをしてほしい	学習の進度や理解に応じ、班やクラスを編成した授業をしてほしい	先生がもっと生徒のことを理解してほしい	もっと先生に相談に乗ってほしい	社会に出てから役立つようなことを教えてほしい	将来の生き方について、もっと教えてほしい	もっと校則やきまりをゆるやかにしてほしい	いじめなどがなく、先生や友人と語り合える楽しい雰囲気がほしい	学校行事を充実してほしい	進級・卒業の規定をもっとゆるやかにしてほしい	希望すれば、学科を変えたり、転校できるようにしてほしい
全体	83	70	70	38	49	132	38	89	52	108	75	66	80	65
	23.8%	20.1%	20.1%	10.9%	14.0%	37.8%	10.9%	25.5%	14.9%	30.9%	21.5%	18.9%	22.9%	18.6%
全日制	67	56	52	26	40	107	28	67	38	95	54	48	61	50
	24.8%	20.7%	19.3%	9.6%	14.8%	39.6%	10.4%	24.8%	14.1%	35.2%	20.0%	17.8%	22.6%	18.5%
定時制	13	13	17	10	8	21	10	20	12	10	18	15	17	13
	18.1%	18.1%	23.6%	13.9%	11.1%	29.2%	13.9%	27.8%	16.7%	13.9%	25.0%	20.8%	23.6%	18.1%
普通科	48	41	47	22	29	89	22	66	35	68	43	44	49	33
	21.4%	18.3%	21.0%	9.8%	12.9%	39.7%	9.8%	29.5%	15.6%	30.4%	19.2%	19.6%	21.9%	14.7%
専門学科	30	23	16	13	16	31	13	15	13	30	30	16	24	27
	30.3%	23.2%	16.2%	13.1%	16.2%	31.3%	13.1%	15.2%	13.1%	30.3%	30.3%	16.2%	24.2%	27.3%
総合学科	5	6	6	3	4	10	3	7	3	9	2	6	7	5
	20.8%	25.0%	25.0%	12.5%	16.7%	41.7%	12.5%	29.2%	12.5%	37.5%	8.3%	25.0%	29.2%	20.8%

- 「先生がもっと生徒のことを理解してほしい」が 37.8%、「もっと校則やきまりをゆるやかにしてほしい」が 30.9%、「社会に出てから役立つようなことを教えてほしい」が 25.5%の順である。
- 専門学科では「先生がもっと生徒のことを理解してほしい」の次に、「授業の内容をわかりやすく教えてほしい」、「もっと校則やきまりをゆるやかにしてほしい」、「いじめなどがなく、先生や友人と語り合える楽しい雰囲気してほしい」がともに 30.3%となっており、「希望すれば、学科を変えたり、転校できるようにしてほしい」が 27.3%となっている。

〈参考〉過去の調査データ

	授業の内容をわかりやすく教えてほしい	自分の好きな教科・科目を自由に選ばせてほしい	もっと興味のもてる教科・科目を設けてほしい	コンピュータなどを使う授業をしてほしい	自分で課題を見つけて学習するような授業をしてほしい	補習授業や個別指導などをしてほしい	学習の進度や理解に応じ、班やクラスを編成した授業をしてほしい	一つの高校に在学しながら、他の高校の授業を受けられるようにしてほしい	先生がもっと生徒のことを理解してほしい	もっと先生に相談に乗ってほしい
H17	31	31	27	17	13	25	16	8	44	15
	29.5%	29.5%	25.7%	16.2%	12.4%	23.8%	15.2%	7.6%	41.9%	14.3%
H12	40	50	56	26	20	25	18	17	28	13
	24.1%	30.1%	33.7%	15.7%	12.0%	15.1%	10.8%	10.2%	16.9%	7.8%

社会に出てから役立つようなことを教えてほしい	将来の生き方について、もっと教えてほしい	もっと校則やきまりをゆるやかにしてほしい	いじめなどがなく、先生や友人と語り合える楽しい雰囲気がほしい	学校行事を充実してほしい	進級・卒業の規定をもっとゆるやかにしてほしい	三年以上で一定の単位を取れば卒業できるようにしてほしい	希望すれば、学科を変えたり、転校できるようにしてほしい	希望すれば再び高校で学べるようにしてほしい	その他	特になし
45	23	48	34	28	23	22	21	14	4	2
42.9%	21.9%	45.7%	32.4%	26.7%	21.9%	21.0%	20.0%	13.3%	3.8%	1.9%
71	49	55	35	29	36	33	50	36	13	9
42.8%	29.5%	33.1%	21.1%	17.5%	21.7%	19.9%	30.1%	21.7%	7.8%	5.4%

(28) 高校をやめたあと、自分の進路について、誰かに相談しましたか。

	した	しなかった	計
全体	230	116	346
	66.5%	33.5%	100%

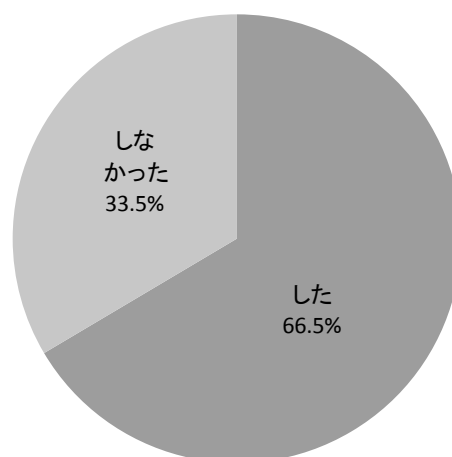
※無回答 3 を除く

全日制	187	81	268
	69.8%	30.2%	100%
定時制	40	31	71
	56.3%	43.7%	100%

※全定別の数字は(4)の無回答 7 を除く

普通科	151	71	222
	68.0%	32.0%	100%
専門学科	66	32	98
	67.3%	32.7%	100%
総合学科	12	12	24
	50.0%	50.0%	100%

※学科別の数字は(5)の無回答 2 を除く

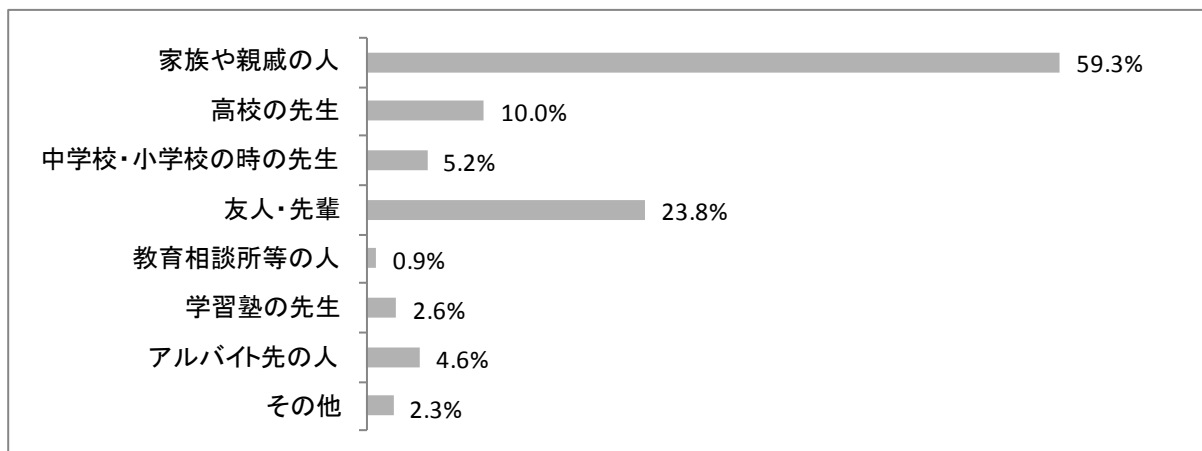


- 「しなかった」が1/3を占める。
- 「(22)高校をやめることについて誰かに相談しましたか。」よりも「しなかった」の回答が7.9ポイント高くなっている。
- 過去の調査との比較においても、「しなかった」の率が高くなっている。

〈参考〉過去の調査データ

	した	しなかつた	不明	計
H17	73	27	5	105
	69.5%	25.7%	4.8%	100%
H12	120	40	6	166
	72.3%	24.1%	3.6%	100%

(29) 前の質問で「した」と回答した人に伺います。誰と相談しましたか。【複数回答可】



	家族や親戚の人	高校の先生	中学校・小学校の時の先生	友人・先輩	教育相談所等の人	学習塾の先生	アルバイト先の人	その他
全体	207	35	18	83	3	9	16	8
	59.3%	10.0%	5.2%	23.8%	0.9%	2.6%	4.6%	2.3%

全日制	169	26	15	63	3	8	13	7
	62.6%	9.6%	5.6%	23.3%	1.1%	3.0%	4.8%	2.6%
定時制	36	8	3	18	0	1	2	0
	50.0%	11.1%	4.2%	25.0%	0.0%	1.4%	2.8%	0.0%

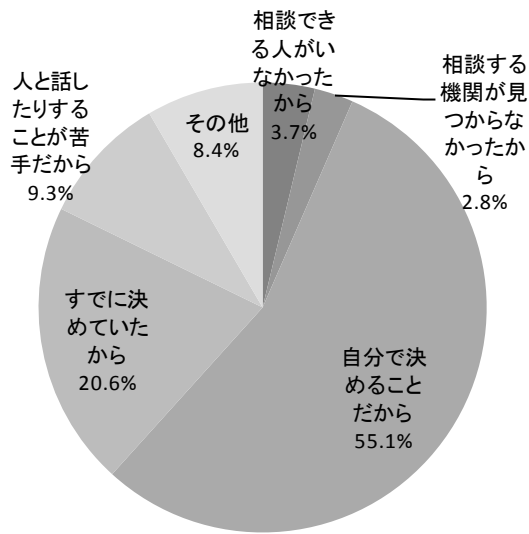
普通科	135	28	13	57	1	8	10	3
	60.3%	12.5%	5.8%	25.4%	0.4%	3.6%	4.5%	1.3%
専門学科	59	6	5	18	2	1	5	4
	59.6%	6.1%	5.1%	18.2%	2.0%	1.0%	5.1%	4.0%
総合学科	12	1	0	7	0	0	1	1
	50.0%	4.2%	0.0%	29.2%	0.0%	0.0%	4.2%	4.2%

- 設問(28)で「した」という回答の内数である。
- 「家族や親戚の人」が59.3%、「友人・先輩」が23.8%、「高校の先生」が10.0%の順である。

〈参考〉過去の調査データ

	両親など家族の人	親戚の人	高校の先生	中学校・小学校の時の先生	友人・先輩	教育相談所等の人	学習塾の先生	アルバイト先の人	ハローワークなど	その他
H17	58	1	14	2	21	0	1	-	1	0
	79.5%	1.4%	19.2%	2.7%	28.8%	0.0%	1.4%	-	1.4%	0.0%
H12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	84.2%	52.5%	23.3%	3.3%	6.7%	1.7%	0.8%	-	2.5%	5.8%

(30) (28)の質問で、「しなかった」と答えた方のみお答えください。なぜ相談しなかったのですか。



	相談できる人がいなかったから	相談する機関が見つからなかったから	自分で決めることだから	すでに決めていたから	人と話したりすることが苦手だから	その他	計
全体	4	3	59	22	10	9	107
	3.7%	2.8%	55.1%	20.6%	9.3%	8.4%	100%

※多重回答エラー4及び無回答5を除く

全日制	3	2	41	17	8	6	77
	3.9%	2.6%	53.2%	22.1%	10.4%	7.8%	100%
定時制	1	1	16	4	2	2	26
	3.8%	3.8%	61.5%	15.4%	7.7%	7.7%	100%

※全定別の数字は(4)の無回答4を除く

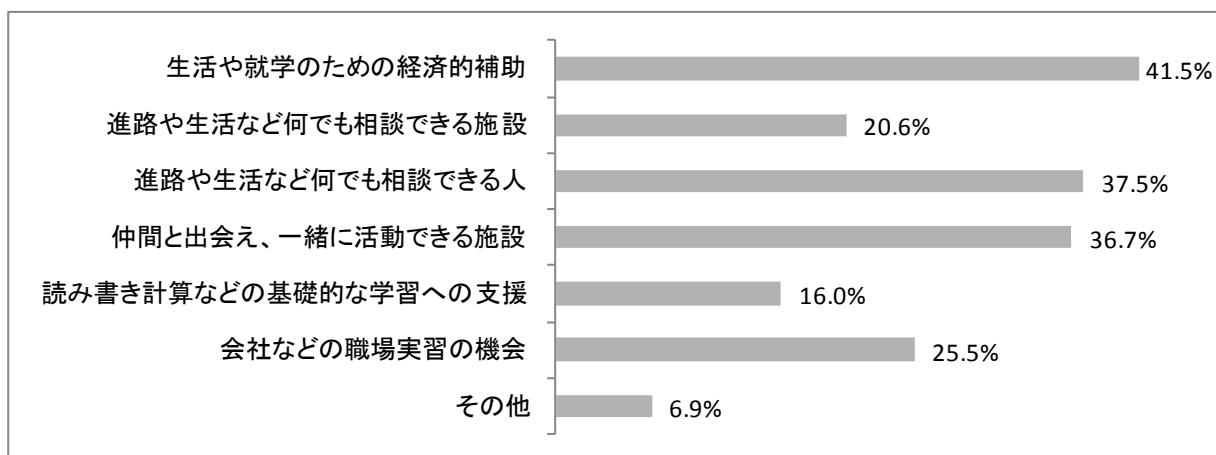
普通科	3	2	35	18	4	5	67
	4.5%	3.0%	52.2%	26.9%	6.0%	7.5%	100%
専門 学科	1	1	17	3	4	3	29
	3.4%	3.4%	58.6%	10.3%	13.8%	10.3%	100%
総合 学科	0	0	7	0	2	1	10
	0.0%	0.0%	70.0%	0.0%	20.0%	10.0%	100%

※学科別の数字は(5)の無回答1を除く

- 設問(28)で、「しなかった」という回答の内数である。
- 「自分で決めることだから」が半数以上である。
- 「その他」には「その必要はないと思ったから」等があった。

※この設問は今回新たに追加した調査項目であるため、過去の調査データはない。

(31) 次のことは、あなたにとって必要ですか。【複数回答可】



	生活や就学のための経済的補助	進路や生活など何でも相談できる施設	進路や生活など何でも相談できる人	仲間と出会え、一緒に活動できる施設	読み書き計算などの基礎的な学習への支援	会社などの職場実習の機会	その他
全体	145	72	131	128	56	89	24
	41.5%	20.6%	37.5%	36.7%	16.0%	25.5%	6.9%
全日制	108	48	98	93	39	65	19
	40.0%	17.8%	36.3%	34.4%	14.4%	24.1%	7.0%
定時制	35	21	30	31	15	21	3
	48.6%	29.2%	41.7%	43.1%	20.8%	29.2%	4.2%
普通科	89	45	89	81	36	55	16
	39.7%	20.1%	39.7%	36.2%	16.1%	24.6%	7.1%
専門 学科	46	22	35	34	15	25	7
	46.5%	22.2%	35.4%	34.3%	15.2%	25.3%	7.1%
総合 学科	10	4	7	12	5	9	0
	41.7%	16.7%	29.2%	50.0%	20.8%	37.5%	0.0%

- 「生活や就学のための経済的補助」が41.5%、「進路や生活など何でも相談できる人」が37.5%、「仲間と出会え、一緒に活動できる施設」が36.7%という順である。
- どの項目も、定時制の方が必要とする割合が高かった。
- 「その他」には「必要なものは特にない」等があった。

※この設問は今回新たに追加した調査項目であるため、過去の調査データはない。

第4章 調査結果から

【高校に入学するにあたって】

本県中学校卒業者の98.2%が高等学校等に進学している状況にあるが、設問(12)「高校に進学した理由はどのようなものでしたか【複数回答可】」では、30.1%の者が「みんなが行くから」と回答している。

また、設問(10)「中学時代、中学卒業後の進路をどのように考えていましたか」では、「中卒で働きたかった」が9.5%、「特に考えはなかった」19.8%、「何もしたくなかった」3.4%となっており、合わせると32.8%となる。これは文部科学省調査における「もともと高校生活に熱意がない(埼玉県は30.4%)」に相当する部分とも考えられ、中学校での進路指導、キャリア教育の重要性を示す結果となっている。

設問(11)「中学校の進路指導に、どのようなことを望みますか【複数回答可】」では、「それぞれの高校の特色について、もっと教えてほしい」が33.8%、「高校の生活や勉強についてもっと教えてほしい」が26.1%、「高校を卒業した後の進路や将来の職業について、もっと教えてほしい」が25.8%と、高校の特色や生活、卒業後の進路について、入学前にもっと知りたかったという回答が多かった。

今後の中学校における進路指導において、この結果も踏まえ、教員が各高校の特色等を理解し、指導に活かす努力が求められる。

また、一人一人の生徒が充実した高校生活を送れるよう、中学校と高校の教員が積極的に情報の共有を図り、円滑な中高接続に取り組むことも大切である。

【高校に入学してから】

○高校生活への意欲

高校生活に意欲を持って入学してくることが望ましい在り方ではあるが、高校生活に熱意がないまま入学してくる生徒に対しては、いかに高校生活に早期に順応させ、意欲の向上を図るかが重要である。

設問(13)「入学する高校を決めるときに役立ったことは何ですか【複数回答可】」においても、一番多い回答は「高校見学・体験入学など」の33.0%であることから、高校としても高校入学前後に、中学校と高校での生徒指導や進級・卒業制度の違い等を丁寧に説明し理解させ、早期に高校生活の環境に慣れさせる努力が必要である。

また、設問(15)「高校に入学してみて、どう思いましたか【複数回答可】」において、「特に何も思わなかった」が21.2%であることから、入学した生徒に対し、学校や勉強に対する意欲を向上させる様々な工夫が必要である。

就労体験活動をはじめとして、学校内外での多様な体験活動等を実施することで、大人から子どもまで、様々な人々との触れあいの中で、学校で学ぶことの意義を改め

て認識させることも大切である。

○学力

設問(17)「高校の授業の内容についてどう思いましたか」においては、「やや分かりにくかった」28.9%及び「大変分かりにくかった」18.6%を合わせ、約半数が「分かりにくかった」と回答している。

また、設問(21)「高校をやめた理由に一番近いものを、次の中から一つだけあげてください」においても「授業についていけなかったから」7.5%「進級・単位取得ができなかったから」16.0%となっている。

このような生徒に対しては、基礎的・基本的内容の定着に向けた義務教育段階の学習内容に関する学び直しの取組や習熟度別授業の展開、補習や追考査の充実など、生徒個々の学力に応じた組織的な学習指導が必要である。

さらに、不登校等による欠課時数の超過も考えられることから、欠席した生徒への連絡を欠かさないことや、単位修得や進級・卒業の条件等について保護者にもよく説明し、理解と協力を得ることも大切である。

○人間関係

設問(18)「在学していた高校には、心を打ち明けて話せる友人が何人ぐらいいましたか」では、「いなかった」が26.0%を占めている。

また、設問(21)「高校をやめた理由に一番近いものを、次の中から一つだけあげてください」においても「友人等人間関係があわなかったから」が15.0%となっている。この回答は、文部科学省調査における類似の項目「人間関係がうまく保てない」(6.1%)の倍以上となっていることから、学校の見立て以上に、人間関係をうまく構築できない生徒が多いことが伺える。

このような生徒については、社会性を身につけさせ、「人間関係力」を養うことが必要となってくる。例えば、アドベンチャー教育やソーシャルスキルトレーニングを導入すること、また「Q-U」などの学級集団に係るアセスメント調査を活用すること等、様々な工夫のもと、社会性の向上に向け生徒を支援する体制づくりが必要である。

○教育相談

設問(22)「高校をやめることについて誰かに相談しましたか」では「しなかった」が25.6%となっており、1/4以上の者が誰にも相談せずに中途退学することを決めてしまっている。

(23)「(相談した人に対し)誰と相談しましたか【複数回答可】」では、「高校の先生」が26.4%、設問(19)「高校には、気軽に相談できる先生がいましたか」では「いなかった」が39.4%であった。このような結果からも、中途退学を考える生徒に対し

て、教員が悩み事などの相談に乗る体制が、未だ十分でない状況が伺える。

教育相談活動を充実させ、生徒一人一人の話を積極的に聞き、生徒が悩みを打ち明けられる体制をつくり、十分な生徒理解に努めることが必要である。

また、退学を申し出た生徒に対しては、保護者を交え、担任、各主任、教頭、校長等による、様々な形での面談を何度も実施し、生徒の相談に乗りながら、再考を促したり、本人、保護者の意思をきちんと確認したりすることも大切である。

○高校をやめるにあたって

中途退学と、いわゆるニートや引きこもりなどとの関連も指摘されるところであるが、設問(6)「現在の状況について教えてください」では、アルバイト・フリーターが35.5%、無職（無業）が16.2%という結果となっている。

設問(29)の「高校をやめたあと、自分の進路について誰と相談しましたか」では、「家族」59.3%、「友人・先輩」23.8%、「高校の先生」10.0%の順である。アルバイト・フリーターの率が高い割に、「アルバイト先の人に相談した」との回答は4.6%と低くなっており、一度学校をやめてしまうと、自分の進路について家族以外の大人にはほとんど相談していない状況である。

また、設問(31)「次のことは、あなたにとって必要ですか【複数回答可】」において、「進路や生活など何でも相談できる人」が37.5%、「仲間と出会え、一緒に活動できる施設」が36.7%の回答であった。

生徒がやむなく高校をやめることとなった場合、中途退学者の正規就労が非常に厳しい状況であることから、やめた後の進路について高校側で十分に配慮することが大切となってくる。

退学する方向となった生徒に対しては、まずは学業の切れ目が生じないよう、転学を勧めるなど働きかけるとともに、その意向がない生徒に対しては、他の機関(ヤングキャリアセンター埼玉、若者自立支援センター埼玉等)との連携により、継続的な支援を図るよう努めることが大切である。

おわりに

今回実施した調査は、平成 17 年度以来 5 年ぶりとなりますが、この間、高校の中途退学防止の対策として、体験活動を中心とした「自分発見！高校生感動体験活動プログラム事業」をはじめ、様々な取組が行われてきました。

その甲斐もあって、一時期は大阪府に次いで全国ワースト 2 位であった本県の中途退学率も、徐々に改善されてきています。

これも、一人一人の生徒に粘り強く対応してきた各学校の努力によるものであり、改めて感謝申し上げます。

しかしながら、全国と比較した場合、本県の中途退学率は未だ高い位置にあることもまた事実です。

一度入学した高校を中途退学することは、生徒本人のその後の人生をも左右しかねない一大事です。また、中途退学とニートや引きこもりの関連も指摘されているところ です。

今回の調査は、過去の調査に比較してより多くの中途退学者の声を反映したものとなっていますが、各高校での中途退学に対する取組に未だ足りないものがあるとするれば、今回の調査からは、そのヒントが得られるのではないかと考えます。

この調査結果を、今後の各高校における中途退学防止対策と、各中学校における進路指導・キャリア教育に活用していただければ幸いです。

県といたしましても、この調査結果を今後の施策決定等に活用して参ります。

最後に、今回の調査に御協力いただいた各高校と、アンケートに御回答いただいた皆さんに、御礼申し上げます。

平成 23 年 3 月

教育局県立学校部生徒指導課長 小島 康雄



生きる力を育て きずな 絆を深める埼玉教育